荒木飛呂彦

「自分に似た人」―顔とか姿ではなくて、偉大な人物の伝記とか読んでると「オオ、この人と同じだよ。オレはアァ」とか感激して、その気になって勇気がわいてきたりする。

C・ディオールという大戦後に活躍した偉大なF・Dがいたんですけど、この人、デザインの仕事をしたあと、庭とか花壇とかの土いじりをせずにはいられなかったらしい。「自分と同じだよォ、土いじりは心が落ちつくんだよォォォォッ、ネコのウンコは嫌いだよォォ」そう思った。

●週刊少年ジャンプ・H9年49号～H10年7号掲載分収録

フライト・コードなし！ ボスの過去をあばけの巻

ジョジョの奇妙な冒険 57

荒木飛呂彦

集英社

9784088725260

1929979003906

ISBN4-08-872526-3

C9979 ¥390E

定価 本体390円＋税

雑誌 43000－26


ジャンプ・コミックス

ボスの正体を知る鍵はサルディニア島にあり!! 出発を前にナランチャが敵スタンド、「トーキング・ヘッド」にとりつかれた！ もう一人の敵スタンド、「クラッシュ」の攻撃も加わり大混乱。どうするナランチャ!?

ジャンプ・コミックス

| タイトル | 巻 | 著者 |
| --- | --- | --- |
| BASTARD!! | 1～19 | 萩原一至 |
| 影武者徳川家康 | 1～6 | 隆慶一郎・原哲夫 |
| SAKON＝戦国風雲録＝ | 1～2 | 隆慶一郎・原哲夫 |
| SLAM DUNK | 1～31 | 井上雄彦 |
| ジョジョの奇妙な冒険 | 1～57 | 荒木飛呂彦 |
| BØY －ボーイ－ | 1～27 | 梅澤春人 |
| 地獄先生ぬ～べ～ | 1～23 | 真倉翔・岡野剛 |
| NINKŪ －忍空－ | 1～9 | 桐山光侍 |
| るろうに剣心 明治剣客浪漫譚 | 1～19 | 和月伸宏 |
| ONE PIECE | 1 | 尾田栄一郎 |
| 封神演義 | 1～8 | 藤崎竜 |
| 遊☆戯☆王 | 1～7 | 高橋和希 |
| みどりのマキバオー | 1～15 | つの丸 |
| 陣内流柔術武闘伝 真島クンすっとばす!! | 1～15 | にわのまこと |
| COOL RENTAL BODYGUARD | 1 | 許斐剛 |
| I"s〈アイズ〉 | 1～4 | 桂正和 |
| 世紀末リーダー伝たけし！ | 1 | 島袋光年 |
| 世紀末リーダー外伝たけし！ | | 島袋光年 |
| 人形草紙あやつり左近 | 1～4 | 写楽麿・小畑健 |
| MIND ASSASSIN | 1～5 | かずはじめ |
| WILD HALF | 1～10 | 浅美裕子 |
| きりん～The Last Unicorn～ | 1 | 八神健 |
| PROTO-TYPE | | 山根和俊 |
| ライバル | 番外編1～2 | 柴山薫 |
| 爆骨少女ギリギリぷりん | 1～5 | 柴山薫 |
| I'll ～アイル～ | 1～4 | 浅田弘幸 |
| かっとび一斗 | 1～43 | 門馬もとき |
| わたるがぴゅん！ | 1～43 | なかいま強 |
| イレブン | 1～38 | 七三太朗・高橋広 |
| エンジェル伝説 | 1～11 | 八木教広 |
| ダブル・ハード | 1～13 | 今野直樹 |
| 宇強の大空 | 1～3 | 梶研吾・岡村賢二 |
| つきあってよ！五月ちゃん | 1～5 | 林崎文博 |
| ドリームメイカーズ列伝 | 1 | [illegible] |
| Mr.Clice〔ミスタークリス〕 | Part 1～2 | 秋本治 |
| こちら葛飾区亀有公園前派出所 | 1～102 | 秋本治 |
| 鳥山明○作劇場 | 1～3 | 鳥山明 |
| 花さか天使テンテンくん | 1～4 | 小栗かずまた |
| ショッキングBOY | 1～3 | 雨宮淳 |
| 快傑蒸気探偵団 | 1～4 | 麻宮騎亜 |
| 風のシモン | 1～2 | 坂口いく |
| 自由人HERO | 1～10 | 柴田亜美 |
| ハット・トリック | 1 | 山下東七郎 |
| GODAGUN | 1 | 片倉・M・政憲 |

★各巻とも好評発売中!!

荒木飛呂彦

ジョースター家のルーツ
1880
ダリオ・ブランドー
殺害
ジョージ・ジョースターI世
(英国貴族領主)
メアリー
殺害
ディオ
殺害
ジョナサン
(波紋を修業)
(考古学者)
エリナ
1900
間接的に殺害
(1889)
ジョージ・II世
(波紋力なし)
(空軍パイロット)
1920
リサリサ
(エリザベス)
(波紋を修業)
1940
ジョセフ
(ニューヨークの不動産王)
(波紋を修業)
スージーQ
(イタリア人)
空条貞夫
(日本人・ミュージシャン)
ホリィ
1970
空条 承太郎
(老後のジョセフ)
波紋の修業はないが自らのスタンドをもつ
スタンド:『星の白金』
日本人女性
(1989)
(ディオ 承太郎によって倒される。
1990
(日本人・教師)
東方朋子
東方仗助
スタンド:『クレイジー・ダイヤモンド』
ジョルノ・ジョバァーナ
スタンド:『ゴールド・エクスペリエンス』
2000

**トリッシュ・ウナ**（15歳）ボスの娘。

**ブチャラティ**（20歳）
スタンド：「スティッキィ・フィンガーズ」

**ジョルノ・ジョバァーナ**（15歳）

**ミスタ**（18歳）
スタンド：「セックス・ピストルズ」

**ナランチャ**（17歳）
スタンド：「エアロスミス」

**アバッキオ**（20歳）
スタンド：「ムーディー・ブルース」

# 前巻までのあらすじ

これは一世紀以上にわたるディオとジョースター家の因縁の物語である…。

現代の日本——ジョセフ・ジョースターの孫、空条承太郎はスタンドと呼ばれる超能力を持っていた。その影響で倒れた母を救い、元凶であるディオを倒すため、承太郎たちはエジプトに向かい、死闘の末、ディオを倒した。

＊　＊　＊

一九九九年の日本。地方都市、S市杜王町では「弓と矢」によって、スタンド使いが増やされていたのだ!! 東方仗助と仲間たちは、その正義の心で、邪悪なスタンド使い、殺人鬼、吉良吉影を追いつめ、これを倒した…。

＊　＊　＊

二〇〇一年のイタリア。ディオの息子、ジョルノはギャング団に入団。ブチャラティたちとともにボスの娘を守る任につく。しかし娘を抹殺することがボスの目的であることを知ったブチャラティはボスに反旗を翻すが…!?

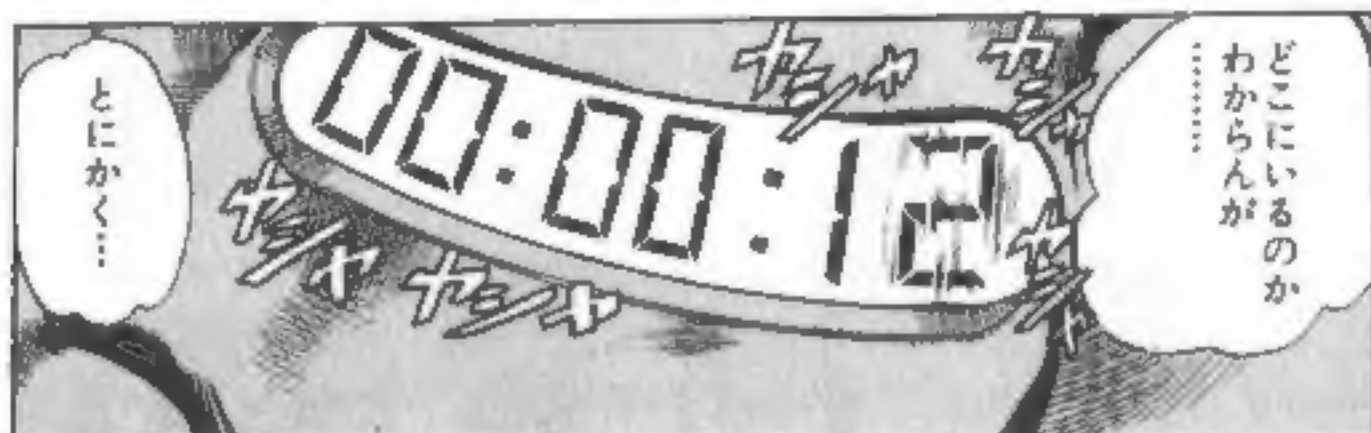
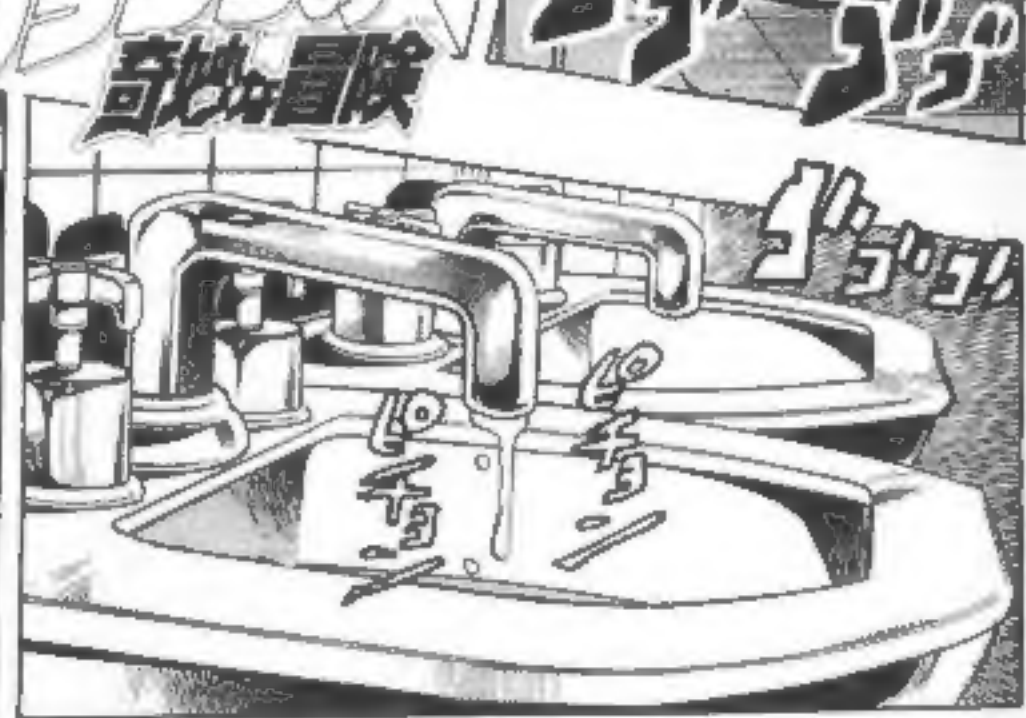
# ジョジョの奇妙な冒険

GioGio 第57巻

## フライト・コードなし！ ボスの過去をあばけの巻

もくじ

# クラッシュとトーキング・ヘッド その③

ジョジョの奇妙な冒険

敵の正体を見極めよーぜッ！
『ムーディー・ブルース！』
十数秒前「この場にいた者」に変身して追跡しろッ！
うんがああああああ
クラッシュとトーキング・ヘッド その③

ETTE
「ムーディー・ブルース」で「正体」を見るのはいい！だが「道筋」はだめだッ!!
「水」の中に入ったら ひとたまりもない！教えなくては！
しゃべったら出てくるのはウソばっかしだけど！なんとかして みんなに教えなくてはッ！
チクショオッ！
こうなったら絶対もう 口を開かねえーぞッ！
みんなが「水」に近づくのを いちいち「力ずく」で守ってやるッ！

防いでやるッ
そしてみんな
気づいてくれッ！
オレの口の中に
もうすでに「別の」
敵スタンドが
襲って来て
いるって事を
気づいてくれ
――ッ
……………
うおああああ
ああああああ

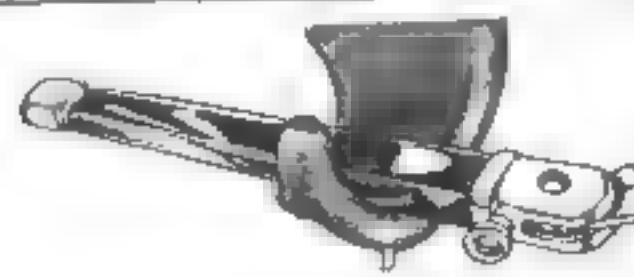
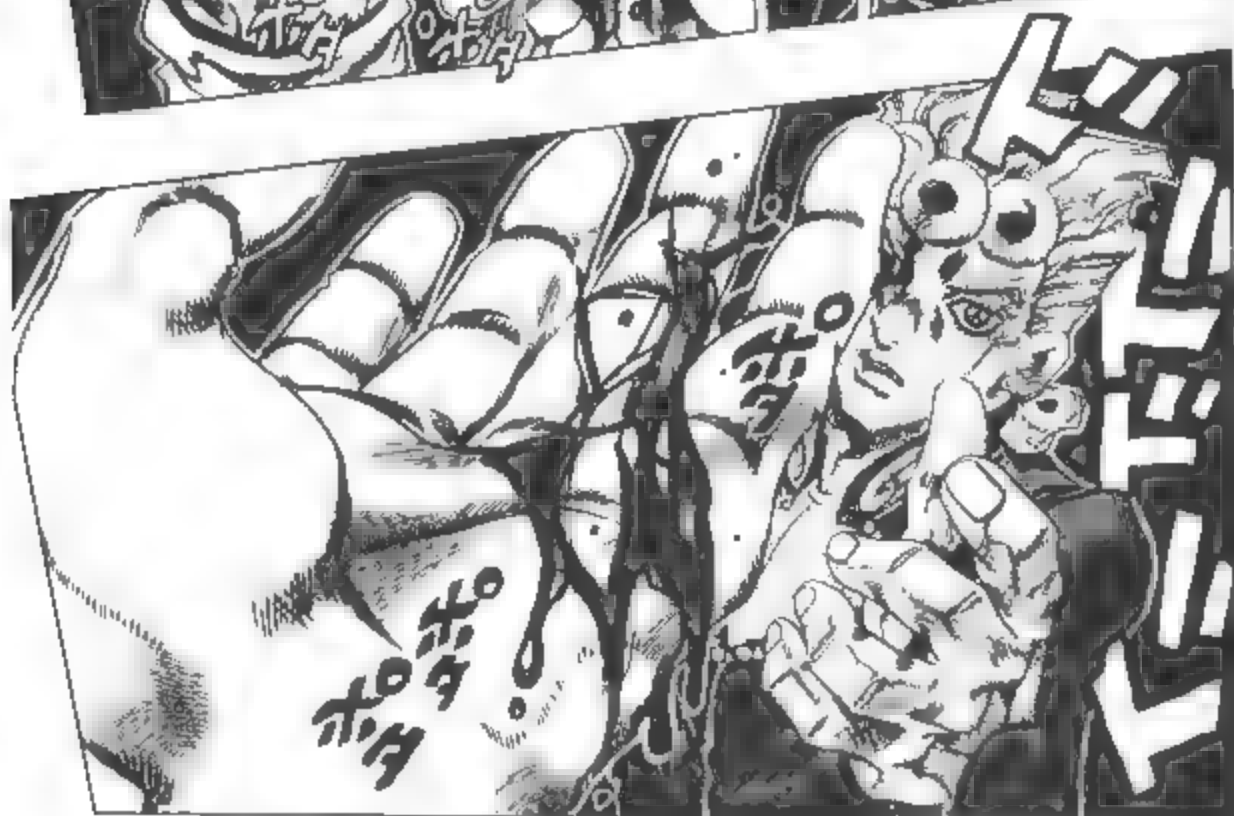
ハッ
ムッ！
この位置で「ムーディー・ブルース」が変身していくぞ！
うおおおッ！のぞいてくれッ！（のぞかないでくれ）
中をのぞいてくれエ――ッ（中をのぞかないでくれーッ）
ジョ
ジョ
ジョ
ジョロロ
うおおッ
なんだこの野郎ッ！き…きたねえッ！

こっち来てくれッ！
(向こう行ってくれ)
アバッキオ
何言ってんだ!?!
この野郎ノノ
ここをのぞいてくれよオオオーーッ
てめー変態趣味になったか！
しかもおめーがこのトイレに敵を見たと言ったからオレは調べようとしているんだ
てめー本当にここで見たのか!?
うごご
うガガガガ
ちょっと待ってください
アバッキオ
ミスタ
何か変です
!!
うガガガ
思い返して見ればさっきから何かナランチャの様子が変だ
さっき攻撃されたから動揺してんだよ!!
いや手で口をおさえてますが
その「口の中」がどうかしたのですか？
さっき「舌」を攻撃されたけれど何か関係でも？

おい！どうしたって聞いてんだよッ！
オレに見せてみろッ
口をふさいでちゃあ何もわかんねーだろッ
ゲッ
ウガッ
ウガガ ミスタァ おまーは引っ込んでいてくれーーッ
よけいな事はやめてくれエーー
ジョルノに推理させてやってくれーーッ
何かあったんなら見せてみろ！
大丈夫か!?

別に普通じゃあねーか
やはりこの野郎、攻撃された屈辱で興奮しているらしい
だろ？
う、うん!!
うがががあ！
ブチャラティ ここはナランチャの見間違いの可能性があるぜ！
やはり「追跡」するならさっきのテーブルの場所からの方が「正体」がわかりやすいかもしれん
だめだよ！ どうちにしても「追跡」はあぁ――
だがもう少しだッ！ ジョルノになら！ もうちょっとで教えられるぞ!!
アバッキオが変身する前になんとかしてジョルノに気づいてもらわなくてはッ！
はッ！
え？

なんだーーッ!?
うっえっ

い痛で！
なにしやがるんだ!? オレのナイフでこの野郎ッ!!
は〃
ナランチャ？
おや
指をケガをしてますね
………
どこで切ったんです？
今ですか？ 洗面台かどこかのでっぱりにひっかけたのですか？

どれ！見てあげますよ
え〃
ドドド
ポタ
ポタ
ポタ
ドドド
ポタ
ポタ
ポタ
ちょ…ちょっと待てよ
ま…まさか！
や…野郎ッ！この血の流れの中にッ！「移動」してくるためにオレの指をッ！
ドドド
ドドド

血を止めてあげますよ！
さ…見せてください
ぐっ!!
だ…だめだッ！
く…来るなッ！ジョルノッ！

うん
治しておくれよ！ジョルノ！
えっ!?
ああっ!!
あっ！

治してあげますとも!!
だからキズをさあ見せて！
うおおおっ!!
おお！ああっ!!
く…来るなジョルノ
行ってくれ！
大したケガじゃあないッ!!

血が止まらねーよォ――ッ
早く治しておくれよ！すごく痛ええんだッ！
うあああ あうぐっぐっ
ええわかりましたって
だからさわらせてください！
ち…違うッ！や…やばいッ！やばいぞッ!!
手を口から放したら思わずしゃべっちまうッ！
でっ…!!でも口をおさえたらジョルノはオレの手の血にさわって…襲われるッ！
こ…これがこの敵の「作戦」だったんだッ！
ま…まずジョルノを殺る気なんだッ！
ジョルノはみんなのケガを治癒しちまうからッ！

〝このオレを使って〟！ちくしょう！ちくしょうッ！
ドドドド
さあ ナランチャ
キズを見せて
『エアロスミスッ！』

ド
ザン
ザザザ

シュウウウウウ

ナランチャ……
もしかして
君は
さっきから
ずっと
君だけが何らかの
攻撃を
受けているのに
ぼくらに真実を
伝える事のできない
理由があるとか
……？
やっ…
やった！
ついに…
わかってくれたぞッ
ジョルノ！
返事はできないけど
そうなんだッ！
まさに
そうなんだよッ！
うくっ
うくっ
つくくっ
口の中に
何か残され
たのですか
!?
最初の攻撃でッ！
たとえば逆の事しか
話せない能力だとかッ！
ヤッタァーッ!!
さすがだ
ジョルノ！
うれしいぜえーーッ
やっと伝わったぞッ！

まさか……
オレの指の血を止めるために巻いたパイプが
「曲がって」
根元から水が…
み…

バカなッ！しまっ……………
ジョルノォ――ッ
ドドドッ
ゴオォ

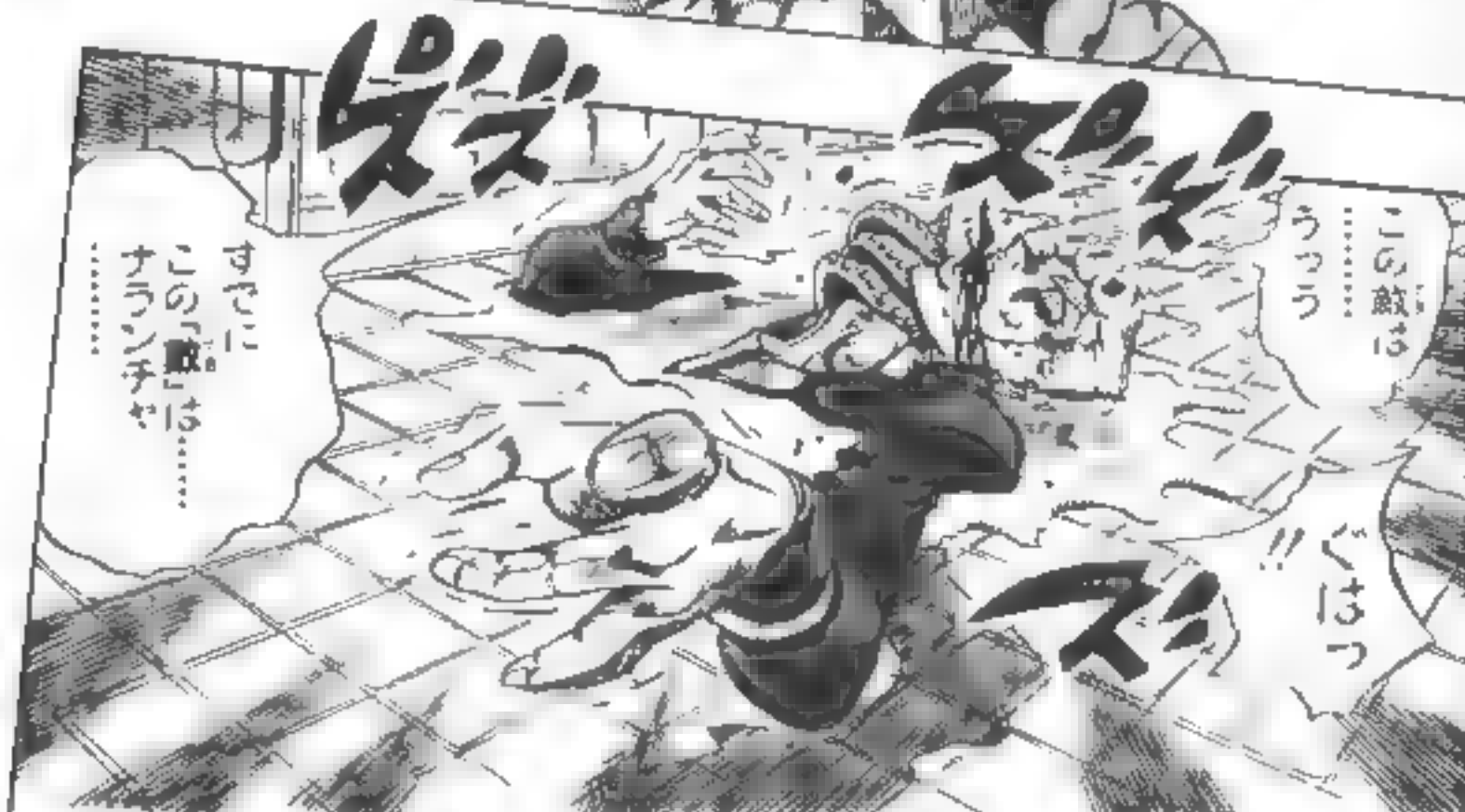
ウェネツィア
サルディニア
ティレニア海
ローマ
ネアポリス

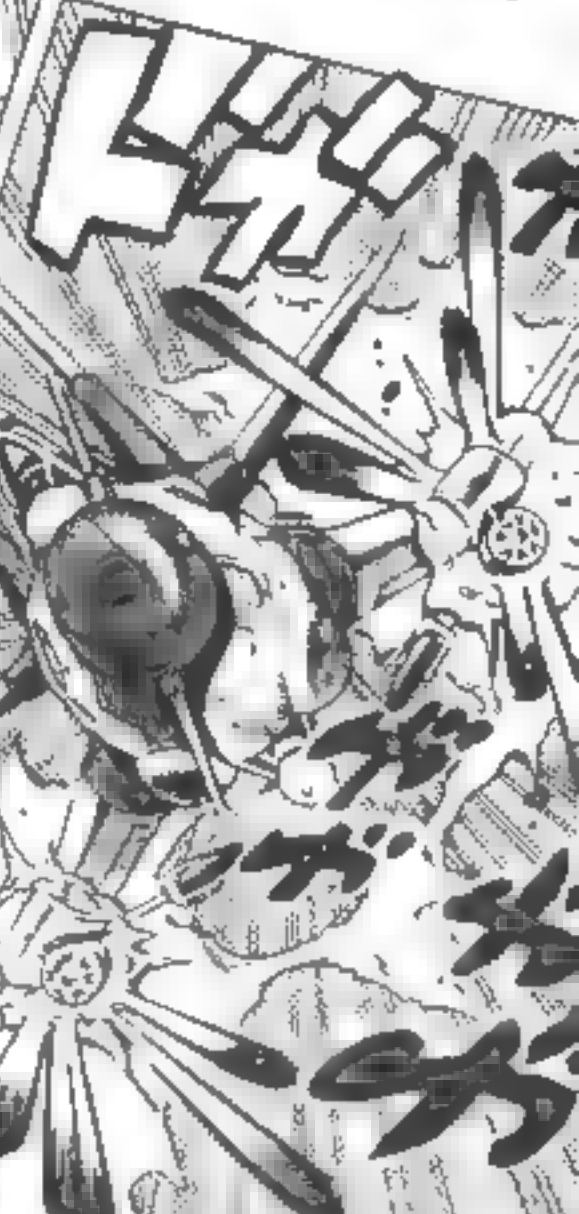
クラッシュとトーキング・ヘッド その④
ジョルノガッ ひきずり込まれる〃
ジョルノの体が こんな浅い「水の中」にッ
ガボッ
うあああおおおお ジョルノォオオオオオオーーーーッ！
ドシ
ドシ
ドシ
ドシ
バシン

アアア

クラッシュと
トーキング・ヘッド
その④
こいつ
ジョルノの
「体」まで
連れて
「水から水へ」の
瞬間移動を
こんな少量の
水なのに

おい！ジョルノ!?
ナランチャ
そっちで何か物音がしてるか
なにかあったのかァ!?
なあああんでもないよオオオオオオオ ミスタァアアアア
（た…大変だァ— ミスタァ）
今そっちに行くよオオオオオ
（も…戻って来てくれよ——ッ）
よし！
喰らいついてやったぜ
まず生命をあやつり
残りのヤツらをひとりずつツブしていくのは楽ってもんだぜ
ああこれで計画どおりだ

しかし
ジョルノの息の根は 今！ ただちに 急いで止めるべきだ…… スクアーロ
情報では ナランチャの 『エアロスミス』は 酸化炭素を 探知できる
今ジョルノが意識を失っていても『呼吸』していれば くらいついている君の『クラッシュ』が 追跡されるぞ
『水から水へ』ジャンプ」でもな！
『エアロスミス』に 君の位置が読まれて 先回りされるのはまずいでしょう…… 追跡して来ますよ……
完全にジョルノの『呼吸』を止めるんだッ！ すぐに……今…… あのトイレから移動する前に……!!
この敵は…… うっう
ぐはっ!!
すでに この『敵』は…… ナランチャや……

ジョ…ジョルノ
そのサメを
こっち向けてくれェ――ッ
動くなよチクショオ！
そのクソったれを
ブチ抜いてやるッ！
すでに「2つ」の
スタンドか
来ていた
……のか

ああッ
ジョ…
ジョルノ!!
ま…
まずいッ！
まずいぞッ！
う…運河までッ！
ハズせばハズすほど
『水』をまわりに飛び散らせてヤツを
バ バ
ズ
ピューン
ピューン
ピューン
ピューン

ピョ～ン
ピョ～ン
ゴゴゴゴ
いた…ッ!!
まだトイレの中にいるッ!!
ヤツの動きを
先回りするんだッ!
いくら瞬間移動とはいえ!
タイミングよく先回りすれば、
ヤツに機銃を
ブチ込める!
ゴゴゴゴゴ
……どうやら「レーダー」を
顔の前に出したぞ
やはり
君がどこへ移動するかを
読んで追跡銃撃
するつもりだ
くらいついてる
「ジョルノ」の
呼吸は早く
止めた方がいい!
くどいぜ…
わかってる
ティッツァ!
しかし

移動中はジョルノへのアタックはやりにくいもんでなあああ
やったッ!タイミングが合ったぞッ!
今だブチ込むのはッ!

ビガガガ

うあああっ
ジョ…
ジョルノをッ！
そ…そんなつもりは！
スギュン

呼吸か、呼吸の音か

ジョルノの呼吸か…

レーダーの印が消えたッ！

しまったアアア逃げられたあああああ

よし！仕留めたぜ

クラッシュは今便器の水から下水の中に入った…

このまま下水を伝わりジョルノの死体は運河まで運んで捨てるとするぜ！ジョルノの死体から他のヤツらがオレの攻撃方法を推理しねぇようにな！

待て！スクアーロ今何て言った？

死体は運河まで運んで…

いや違う！ナランチャがですよ！

ナランチャは今何て言いました？

うっかり聞き逃すところだったが……

ナランチャは今、たしかに言ったぞ

『逃げられた！』…と…

「声に出して」レーダーの「印が消えた」ともしゃべった！

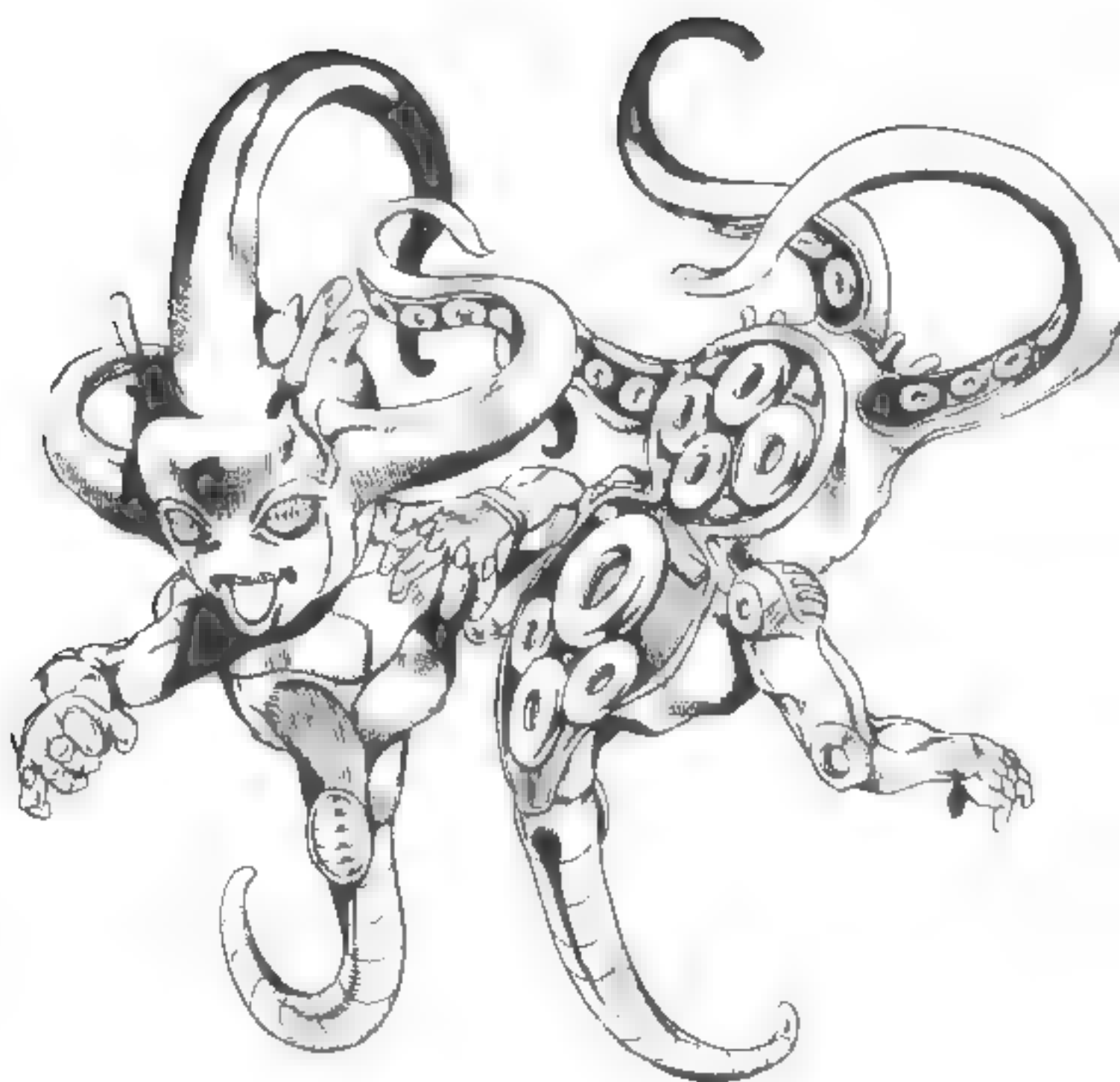
オレの『トーキング・ヘッド』がやつの舌にひっついているのに「逃げられた！」と言ったんだッ！

スクアーロ！すぐにそこを移動しろッ！
今いる下水管はまずいッ！
なに言ってんだ!? ティッツァーノッ
ジョルノの息の根は完全に止まっているッ！もう何者だろうと我が『クラッシュ』を探知できる者はいないッ！
『逃げられた』と言ったのはわざとだ……!!
君を安心させるために！『クラッシュ』の瞬間移動を少しでも長く止めるためにッ！
どんな方法かわからないがッ……！

まちがいなく…
ブス
ブス
探知されているぞッ！
ドドドドドドドドド

ジョルノは
わざと動いて
あの時 わざと
撃たれたんだ
呼吸を止められる
前に…
硝煙を作って
オレが追跡できる
ように…
ヤツのいる場所は
のどの中だッ!
よくわかるぜ…
ヤツの位置がよくわかる
のどの位置は硝煙から
約5センチ上!
ヤツに
逃げられたアーッ
(行くぜッ
ブチ込むッ!)
やはりだッ! 早く移動しろ
ーーッ!!

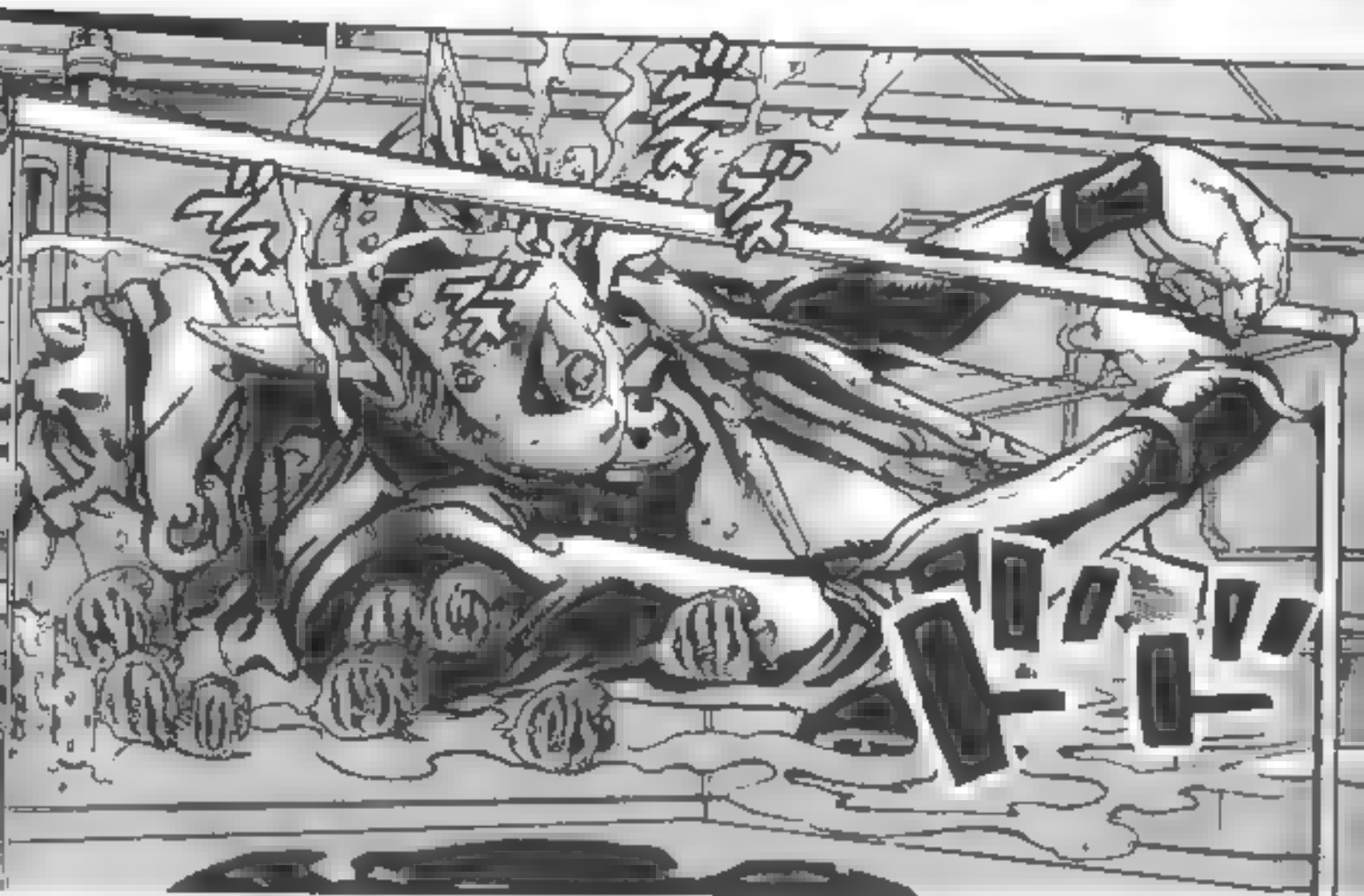
うぐァ
行くぜッ ヤロオッ！ ンヨルジーはッ
呼吸は止められたが
完全に死んだって
ことじゃあねえッ！
呼吸は止まってても
数分以内に蘇生
させれば生命は
助かるってことだッ
しかもジョルノは
自分のキズの部品も
作れるッ！

ますいぞ！スクアーロ！
2発撃ち込まれたってことは
追ってくるぞ
やったぜ…
下水から出して
やったぜ！

| スタンド名「トーキング・ヘッド」<br>本体ーティッツァーノ | | |
|---|---|---|
| 破壊力ーE | スピードーE | 射程距離ーB |
| 持続力ーA | 精密動作性ーE | 成長性ーE |
| 能力ー[illegible] | | |

Aー超スゴイ　Bースゴイ　Cー人間並　Dーニガテ　Eー超ニガテ

クラッシュと
トーキング・ヘッド
その⑤
だめだ ブチャラティ…
この「敵」への再生追跡は…
これ以上できねえ！
「敵」がさっき このテーブルの上の このコップの中にいた事は 確かにわかる…
しかし！
いたのは 一瞬だけで そこから先へは「ムーディー・ブルース」は
変身もできないし 進む事もできねえ
どういう事だ？ アバッキオ
ゴゴゴ
ゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴ

わからねえ……
「瞬間移動の能力」……
この敵の正体への
ビデオテープが切れた
ように先へ進まねえ
ゴゴゴゴ
ドドドドド

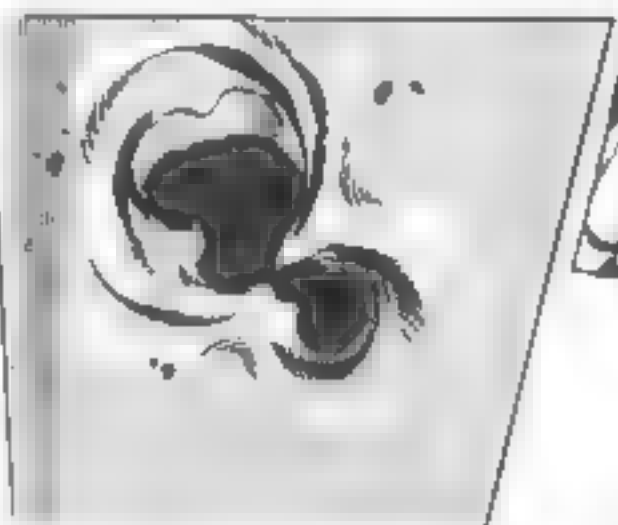
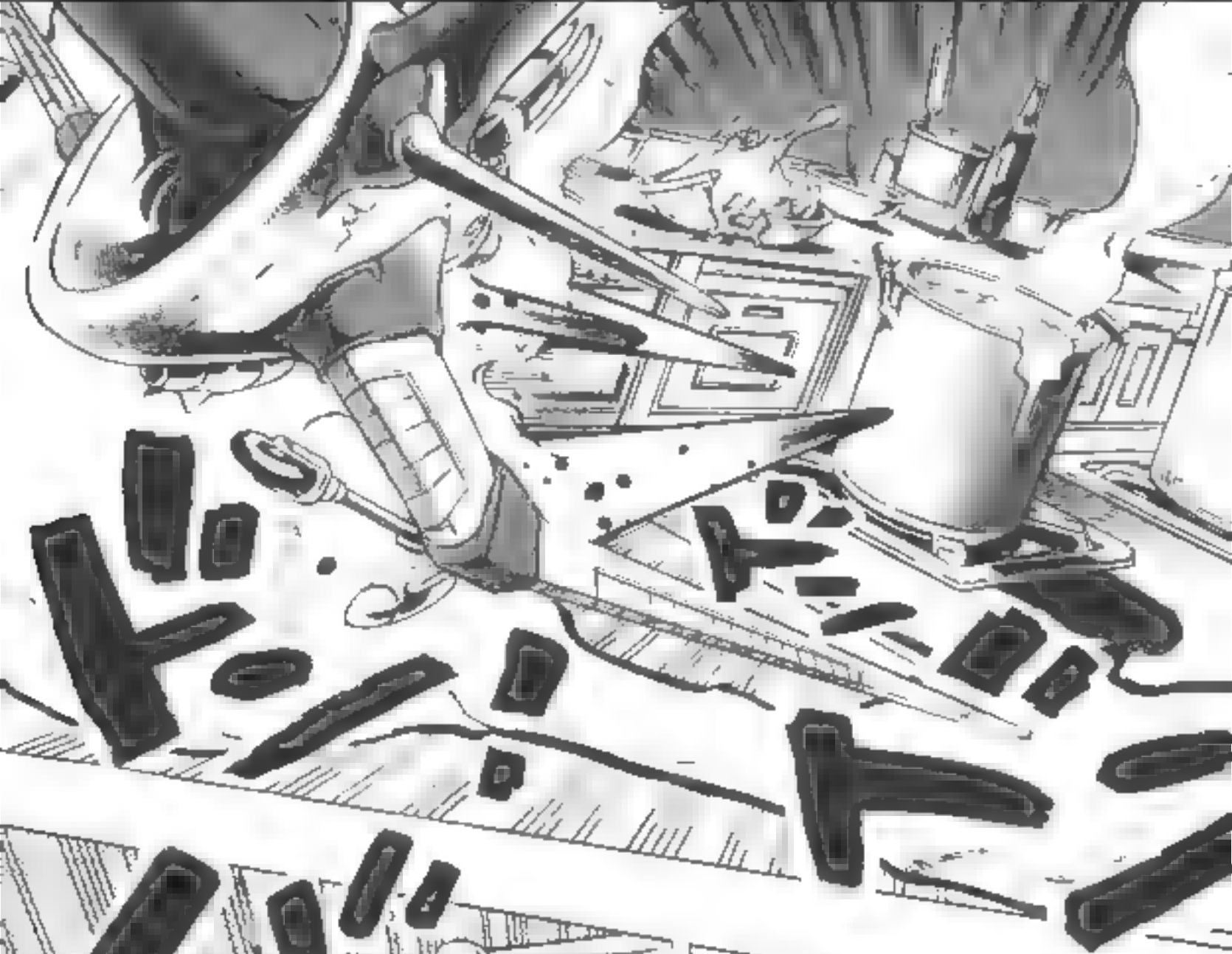
クラッシュとトーキング・ヘッド
その⑤
ゴゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ドド

まずい…
かなりまずい
兄貴…今
君の「クラッシュ」の移動が
「探知」されています
まさか
ナランチャが
ここまで
やるとは
いや
ジョルノだ
ジョルノがあえて
自ら「エアロスミス」の
機銃をくらったから
こんな事態になって
しまったんだ
くそ
どうしても消せねえ
「水の中」でも
くらったのは
「スタンド能力」の弾丸だ…
その「弾痕」は「水の中」
だろうと
出てる
みたいだし
消えたと思っても
ほんの少しのにおい
でも ヤツには探知
できるのかもしれねえ

ドドドド
チラリ
ドドドド
ここから今移動したら瞬間その場ですぐに攻撃してくるだろう
なんとかして姿を消さなくては…
ドドド
このままジョルノを連れてヤツの探知できねえ所で姿を消せば…オレたちの「勝利」だ…予定どおりひとりずつ…ひとりずつ…！
次はナランチャに決めているが…
ブッ殺せる!!
ドドド

キュ
ギュ
ブキュー

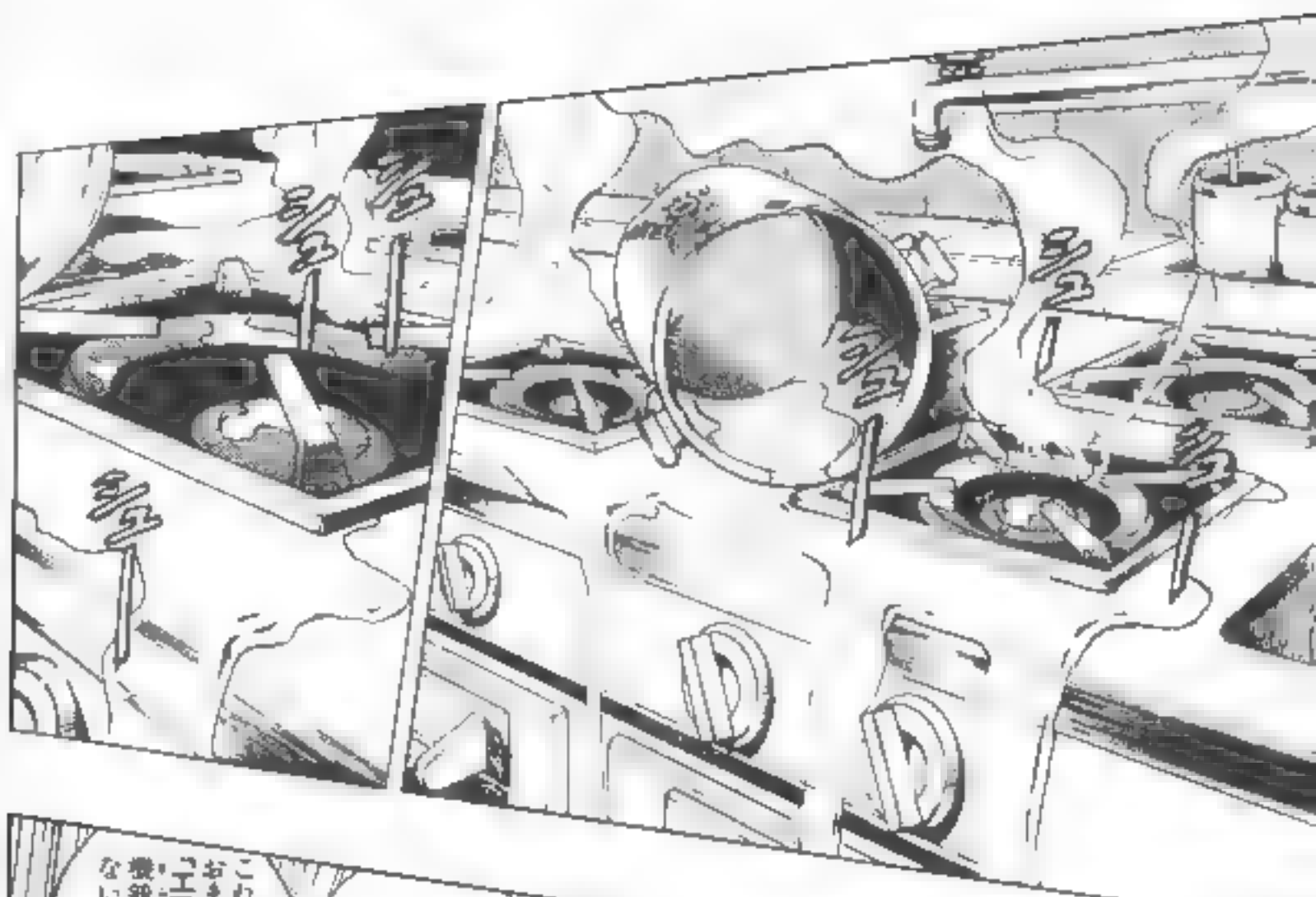
さっきから見てたけどよォ
この「サメ野郎」
どうやら水から水への一回の移動距離は
そんなに長く飛べねえみてーだなあ
短い せいぜい
2〜3メートル以内のジャンプといったところか
遠隔操作のわりには
超スピードの能力を持つ
だから それが弱点か

スパーーン
負傷のせいか「移動」のスピードが
鈍くなって来ているぜッ！
う…ぐう
こ…攻撃の「照準」が…
正確になってきている

おお!!

あうっあ
スクアーロ
ジョルノは「呼吸」を止められただけだ！
ジョルノはこれで助かる！
蘇生させれば助かるぞッ!!
やったぜッ！
ジョルノが水から出た！
よしッ！
このままあと一撃のとどめをヤツに撃ち込めばおしまいだッ！

スクアーロ
わかっていると思うがジョルノをかかえ「移動」が遅くなってる
とはいえジョルノは決して離してはならない
たとえこのまま死んでも
この「護衛」はボスの直接命令なのだ こらえろ!
こらえて逃げ切るのだ!
ドドドド
くらえッ! サカナ野郎……
はっ!!

こ
このにおいは…"
ジョルノを捨てるだと？ティッツァーノ！
そんなことはもちろんこれっぽちも考えてねえぜ
予定どおり海まで連れて海底に葬る
そう！予定どおりナランチャに撃たれてやったんだからな……
これは予定どおりだぜ
ナランチャおまえが撃ったからナベから湯がもれたんだ
これでおまえの「エアロスミス」は機銃を撃てない
これでおまえはオレを追跡できない
ナベの湯で火を消したのはおまえだ
火花を散らせてガスに引火したら焼け死ないにしても？

そこらじゅうが燃えて
二酸化炭素だらけでオレを区別できないからな…
これは……
「エアロスミスの機銃」で……
撃てるものなら…ナランチャ
ククク
ククク
ククク
撃ってみろッ
これでオレたちの勝利だッ！
!!

撃てねえ――んなら
撃てねえーで
よオオオオオ

てめーを殺る方法はあるぜエエエエエエッ!!
ウガッ

やったッ！
ジョルノをとり戻してやったぜッ！
敵をやったぞッ！
ブチャラティー ミスターッ
敵はここだッ
ここにいるんだッ！
アバッキオ！ 敵は水から水へ移動するヤツなんだッ

え？

オレ今
なんて…言った？

スクアーロ

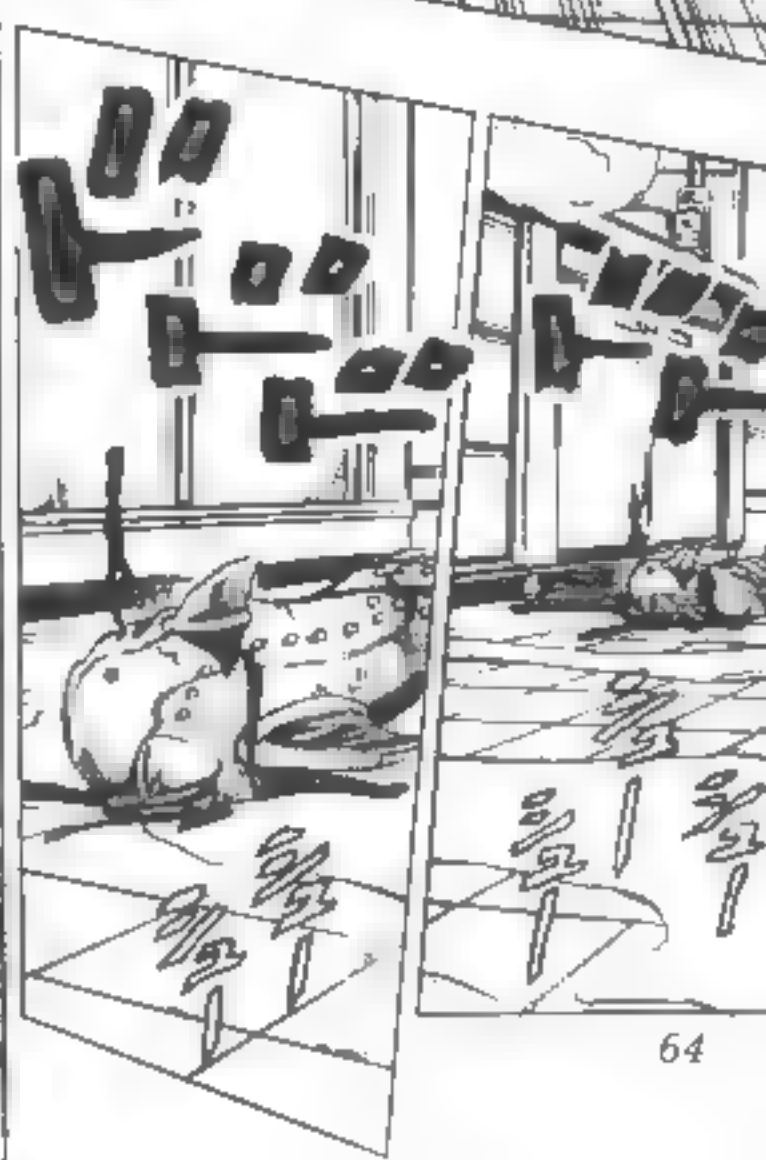
ナランチャの「舌」にいるわたしの「トーキング・ヘッド」を…

解除しました

そう！「予定」どおり……!!

これで我々の「勝利」だ　スクアーロ　あなたの予定どおりです

かなり負傷はしましたがボスは満足してくれるでしょう…

今叫んだか？ナランチャ？
なんでおまえそんな店の奥にいる？
おまえ今敵がいると叫んだのか？
敵は水から水へ移動するだと？これで納得がいくなアバッキオッ！
え？
おい みろ！知らねー間にジョルノが攻撃されているぞッ！
そいつが敵か？
え？

ガフッ
あ
な…なにィ!?
まあ…… 待っ 待…
ただし
ナランチャの「舌」の「トーキング・ヘッド」の
解除は一時的!
元に戻しました
スクアーロ
動いてください!
最後の攻撃です!
あとは楽なもんですよ!
ドド
た…ためだ
ためだッ!
ミスタ!
せっかく
ジョルノの意識が
戻ったというのに
ガスが
ば…爆発を
野郎ッ
くらえ!

撃てェー
ミスタ！
撃つんだぁぁぁ
ブッ飛ばしてや…!!
なにっ!!
ああ
わかってるぜッ！
行くぜ
ピストルズッ！
え"

うげっ
なにイイイイ……
ピコッ
ピコッ
ピコッ
し…しまったッ！
見分けがつかない！
レーダーがッ！
ピコッ
「ウソ」のせいで……!!
ジョルノが……
さらわれるッ

「本体」を

うう あ

ガブッ

探すんだ

ジョ…ジョルノがッ!

# クラッシュとトーキング・ヘッド その⑥

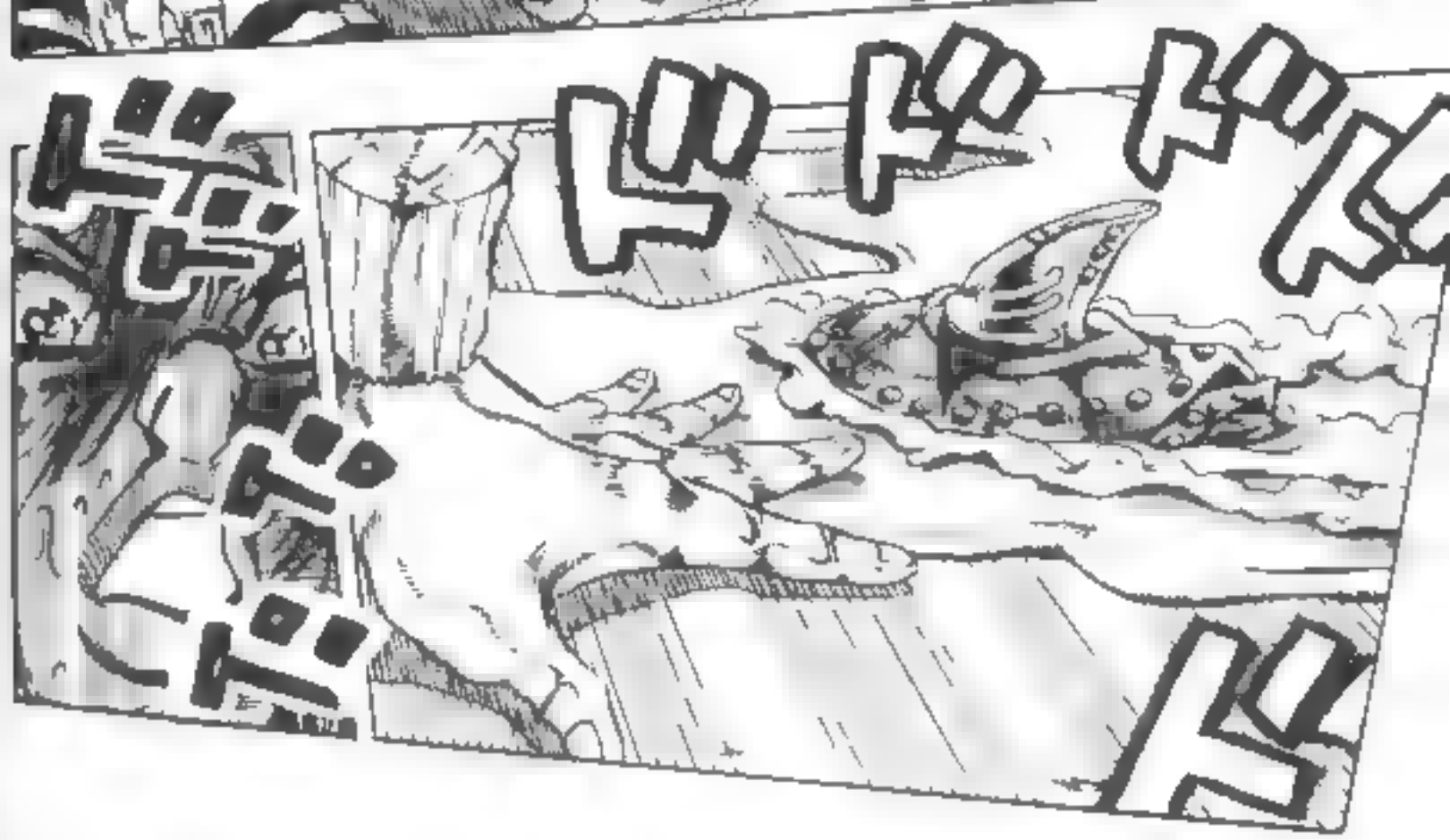
せ…せっかく「蘇生」したというのに…

探知できないッ! 襲われるッ! ジョルノがさらわれてしまうッ!

レーダーがきかないッ! オレがしゃべったウ・ウソのせいだ!!

追うのは……
ジョルノオオオオ——ッ
ぐっ……「スタンド」じゃあ
ない
「本体」……だ

おおおおおおおお
クラッシュとトーキング・ヘッド
その⑥
ドドドドド
いっ一体!?ナランチャ……
これは
うおおおおおおおおおおおおおおおおおお

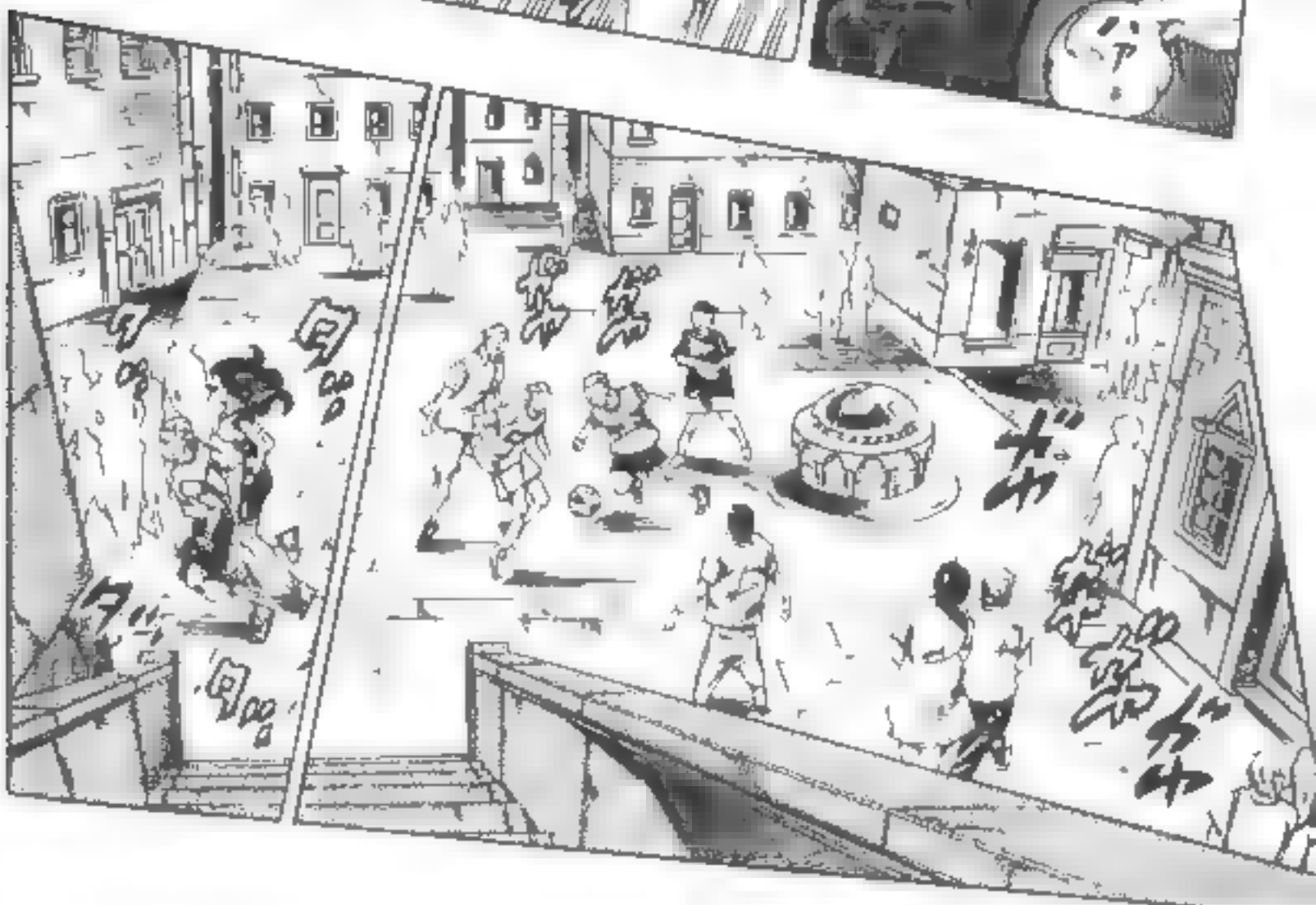
て……てめー
なぜ……「撃て」と言ったんだ!?
厨房中……ガスが充満してんじゃあねーかッ!
ハッ!!
ドドドドド
ドドドド
ドドドド
ド

危ないッ！
敵だァ――ッ
「上」だッ！
「上」にいるぞッ！
はッ！
違うッ！ しまったッ
「下」だッ！
「下」にいるんだッ！
ううッ
なにイイイ――ッ!!
あああッ

アバッキオーーッ
!?
ナランチャ!? お…!? おまえ
何を言ってるんだッ！
一体なんなんだッ
だっ！だめだッ！お、思わずッ！しゃべっちまうッ！
もうしゃべれねえッ！どうしよう どうじよおおおおおお〜〜〜ッ
ちくしょう！ジョルノが…ジョルノが完璧にさらわれてしまった
見失った！今度という今度はジョルノが確実にとどめを刺される そして戻って来て 今のようにみんなを再攻撃するつもりだ！
ナランチャ!?
おまえどこに行くッ
一体何なのだ!? この敵は!?

オレ・ひ・と・り・だ
ひ・と・り・で
や・る・し・か・ね・え
ジョルノは「本体」の呼吸を
探せと言った……そ　そうだッ！
敵はケガをしている!! そ…そのことか？
「呼吸」かッ
「負傷しているからきっと呼吸は荒くなっているッ！」
オレのレーダーでそいつの方を探せって
いうのかッ！
この付近の
どこかにいるはずだ
時間はねえッ！
急いで探すんだッ！
「呼吸の荒い
ヤツ！」
たしかに
遠隔操作の
スタンド使いだが
……

よし…
これで予定どおりです
ジョルノさえいなければ残りの者の負傷を治す者はいない…
ハァ ハァ
さあ！スクアーロ！
今すぐにジョルノのとどめを確実に刺してください
ああ やるぜッ！
そしてダメージはくらったが ヤツを再攻撃する力は充分残ってるぜ！
しかも奪った
じき消える
ハァ ハァ ハァ
ムッ!!
ハァ ハァ

おい・
見ろ
ナランチャだ
レストランの外に
出て来たぞ
なんて
外に出て
来たんだ!?
ハァ
ハァ
ハァ
「クラッシュ」は
今どこに
いるんです
?
向こう
側だ!
レストランの
ハァ
ハァ
下水管から出て
運河に向かってる
途中だ・
もうヤツらは追跡でき
ねーのに・
ひょっとして
野郎…
「クラッシュ」ではなく
「本体」のこのオレを
探そうってんじゃ
ねーだろーな!
オレの
呼吸を
!!
ハァ
ハァ
落ちついて
スクアーロ
不可能だ!
打つ手が
なくなってあがいて
いるってことだ
!
この半径一〇〇メートル
界隈だけでも
どのくらいの数の人間が
いると思いますか?
五〇人?一〇〇人?
君と一般市民を区別
できるわけがない!

ヤツは『呼吸の荒い者』を
区別して探そうって考えなら？
ハァ
ハァ
オレは…負傷している
ひょっとして…呼吸が荒くなっているのかも…
焦らないでスクアーロ
階段の下を見るんです
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ
ゴ

うしろの広場に今何人の人間がいます？

たとえナランチャが「呼吸の荒い者」を区別しようとしてるとして

ゴ

ゴゴゴ

中にはサッカーをする者や急ぎ足の者もいる

君より「呼吸の荒い者」は何人もいる！区別できるわけがない！

焦らずに呼吸を整えるのです

念のため負傷を隠しましょう

そして平然とこの広場にいれば安全です！

まあ我々の勝利には変わりはない！ジョルノのとどめを刺すのです

ゴゴゴ

見つけたぞ！

そこに！いるな！

ゴゴゴ

ああ確かに……

おまえの言うとおりだぜ…見つかるわけはないな

ゴ

な!?
なんだと!?
ドドド
ドドドド
ドドド

しまったッ！
『クラッシュ』を
戻さねば！
落ちついて
スクアーロッ！
よく考えてッ！
「見つけた」としゃべるのは
「ウソ」なのだ！
わたしの「トーキング・ヘッド」が
ナランチャの「舌」に今いる事を
忘れるなッ！
ウソしか
言えないと
わかりきっていながら
なんでヤツはワザワザ
「見つけた」なんて
言うんだ
ドド
ヤツは今「心と逆」の
ウソしか言えないッ！
「見つけたぞ」と言う事は
「見つからない」という事
それを忘れないで
ください
ドドド
だから君を「疑心暗鬼」
にして 呼吸を荒くさせ
ようという 気なのだ…
落ちつくんです
焦る事はヤツの
思うツボです
ドドド
ナランチャの
やつは…
君を区別なんか
できっこないッ！
ドドド
ドドド
最後の悪あがき
というわけだ これは…
呼吸を整えるの
ですッ！

見つけ……たぞ！
ピ～ッ
そこ……だな…!!
つい…にッ！「見つけ…たぞ！」
聞きましたか!!
また言ったぞ
言えば
言うほど！
「ウソ」なのに……
安心してください
やはりッ！
「ヤツに見つけられない！」
これは確かな事だッ！
「確かなウソ」なのだッ！
わたしの「トーキング・ヘッド」は
確実に！やつの「舌」に
今！ひっついて…
ガフッ
ゴぶっ
ポタ
ぶう
ぐっぐっ
ドドドド

くっ…
うう
ガフ
ドド
ドー
ドドド
なっ!!
お…おい…
見ろ…あっ…あっ…あいつの口の中…

なんだとオオオ
自分の舌を!
自分のナイフで…!
切り取ってるぜ
まさかそんな事を……あいつ
そんなバカなッ!
自分の「舌」を切り取ったら生きてなといられないッ!
ましてや!!しゃべる事など…
見つけ……
…たぞオオオオオオ

そこにいるなあああ
し…「舌」が……
別の「舌」が
てんとう虫が舌に！まさか！
ジョルノだッ！
ジョルノ・ジョバァーナ！ややはりボスの忠告どおりあいつが問題だった……
ジョルノの野郎がさっき料理場でナランチャの舌の「部品」を創って
渡したんだッ！
ハァ ハァ
見つかっている
く…来るぞッ！向かって来る！やはりオレの呼吸は探知されてたんだ！
お…落ちつけ!!
「見つけた」と言ってるのはハッタリに決まっているッ！もし探知しているのならとっくの昔に攻撃しているハズだ
見分けられるハズはないッ！

オレがナイフで「舌」を切り取ったのを見て!

急激に『呼吸を乱す』ヤツを!!

自分のスタンドがベロごと外に出ているのを見て……大きく動揺するヤツを!!
待っていたぜッ!
もう見失ったとあきらめかけていたのによォ~~~ッ

なん……

だって……!!

ハカな……
そこのてめ～～～ッ！
「呼吸」を乱したなッ！
おめー
だよーっ
おめえ～～～
髪の長いオメーに
言ってんだぜ
オレはよォ――ッ

なんてこった
ドックン
ドクン
こいつ・・・
「自分の舌」
つう〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
事はよォォォォォォォォ
「サメ使い」はよォォ〜〜〜〜
その隣の野郎……だな？
よく見りゃあ顔色悪いぜ……
おめーの隣にいる野郎の方がよォ〜〜〜〜〜!!
クラッシュとトーキング・ヘッド　その⑦
スクアーロ！「クラッシュ」を戻せ！
急げ！今……攻撃されるのはおまえの方だ
すでに！やっている！下水管内を移動して近くまで来ている・・・
あの「井戸」のところまで来ている・・・しかし・・・
ドクン

ガバッ
ボイイッ
この広場には「水」がねえッ！
ドドド
ナランチャの近くまでジャンプするための「水」がねえッ！
クラッシュとトーキング・ヘッド
その⑦

呼吸を探知されないように…この広場に隠れようとしたのは マズかったぜッ!! ティッツァーノ!
てめーの方がよォオオジョルノをつれてった野郎だなあああああああああ

くらえッ『エアロスミスッ』!!
スクアーロ……!!
だ…だめだ……「水」がねえッ
と…遠すぎるッ!

ドドドド

!?
ティッツァー!?
…………
ビチャ
ビチャ
ティッ

ティッツァーーノオッ!?
これなら……
ジャンプできる「水」ができたぜっスクアーロ
ほんのちょっぴり
予定どおりではなかったか
「勝利」にはかわりがない
オレたちの「勝ち」には……
く
な
ドドドド
ドドドド
ビチャ
ビチャ
ビチャ

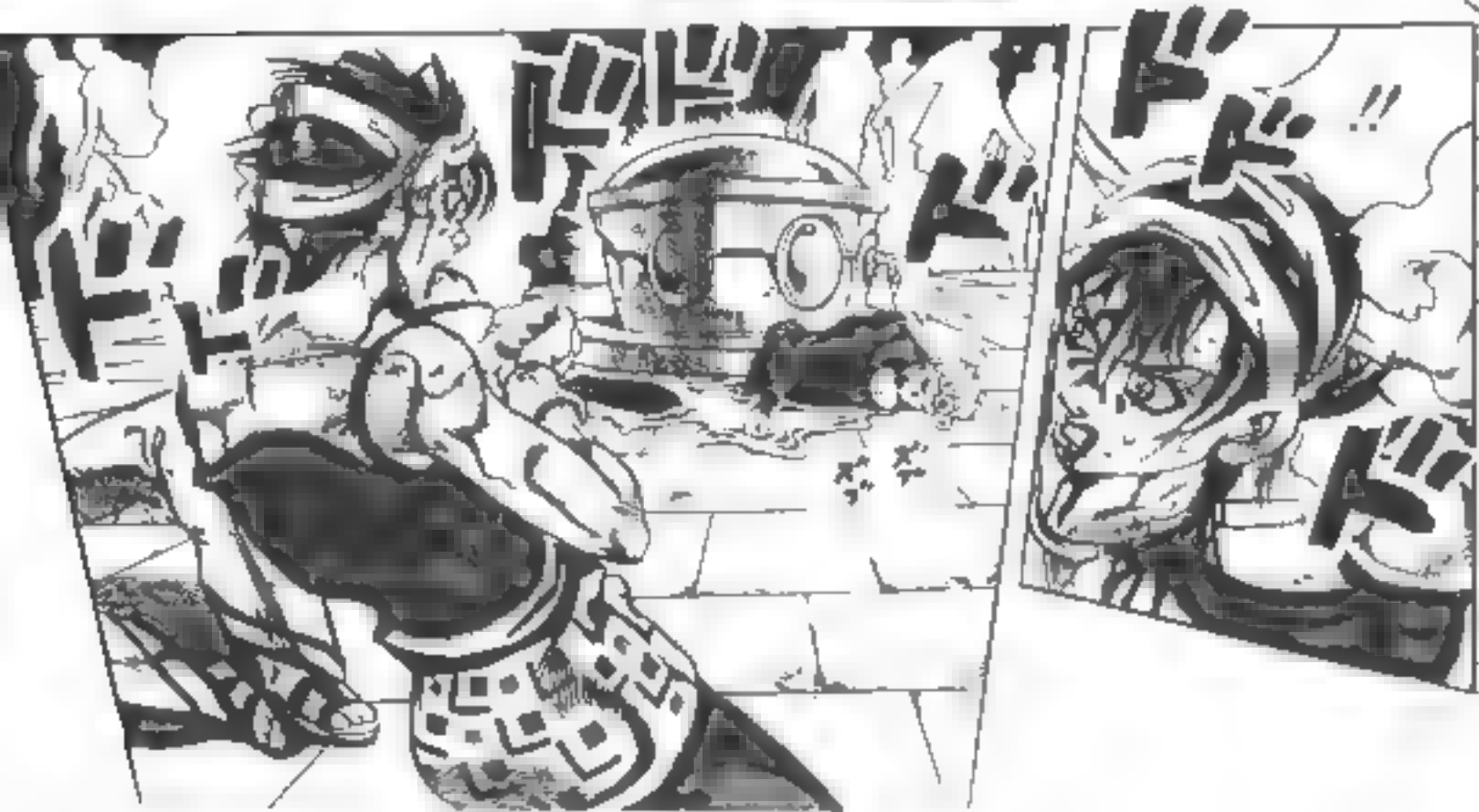
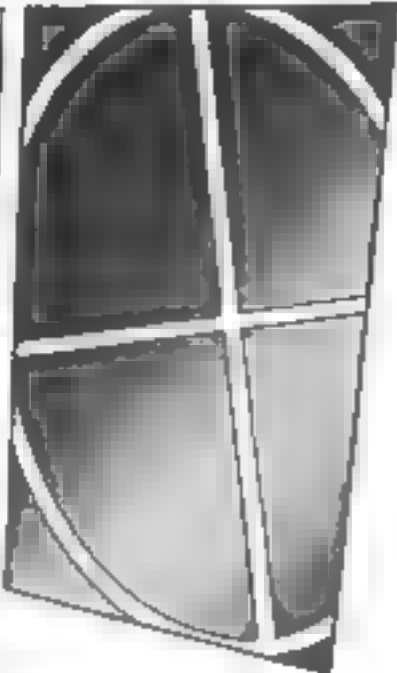
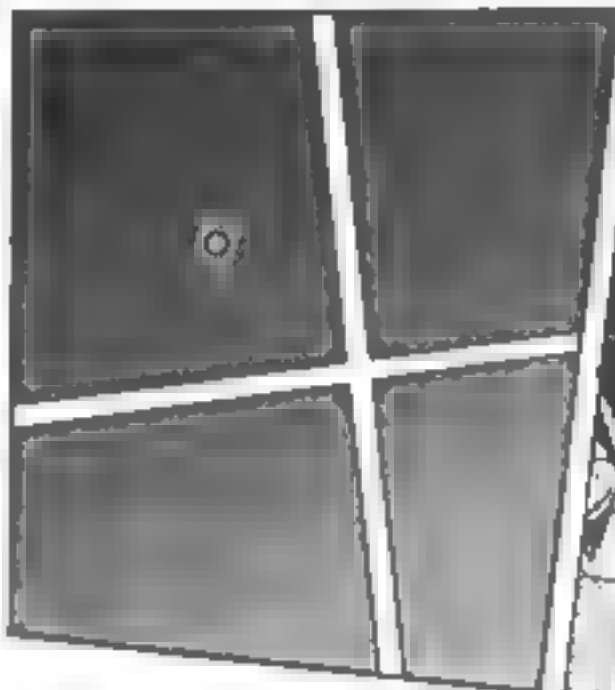
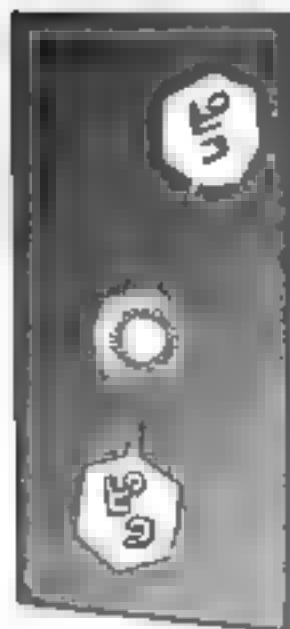
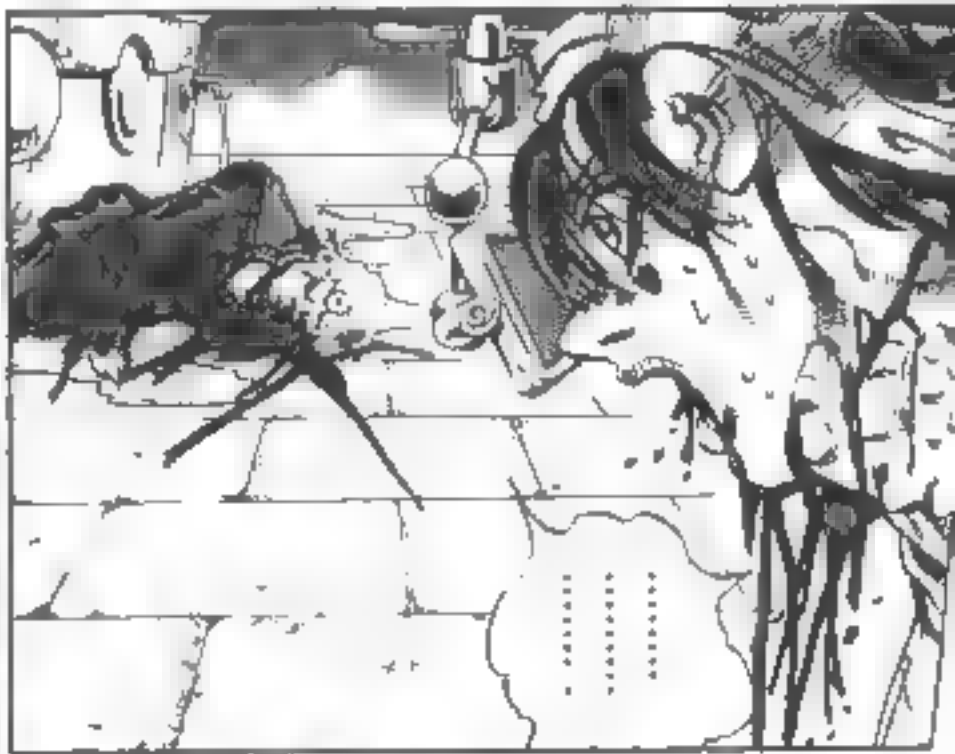
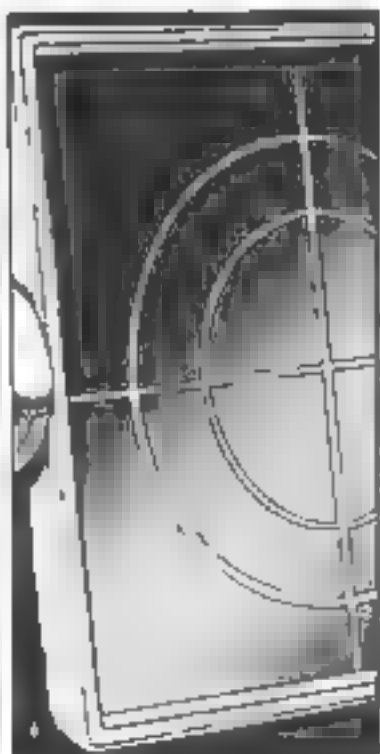
「ボスの命令」
そんな事はもう
どうでもいい。「任務」が動機でヤツを殺るのではない・・・

ティッツァーノ　オレは　おまえのために　ヤツを始末する
死体は破片も残さねえ…
ナランチャの仲間も皆殺しだ　こなごなにして　喰わせてやる…　全員に!
『クラッシュ』! 喰いやぶれェェェェ　のどをヲヲヲヲヲオオオ　オオオオオオオ

ひるむ……と！
思うのか……
これしきの
これしきの……事でよォオオオオオオオ

ぐぇっ
オレたちはよォ……
このヴェネツィアを何事もなく…みんなで脱出するぜ
それじゃあな……

ボラボラボラ
ボラボラ
ボラ
ドドドド
ボラ
ボラ

ボラーレ・ヴィーア
（飛んで行きな）
ぶぎャイイイあああっ
「精神力」……
こんな……
圧倒的な
「裏切り者のくせに」……
ボスに始末される運命の…未来も絶望しかない者のくせに……
なんなのだ？
まるで希望があるかのような精神力は…一体？
こいつらをつき動かす

うわあああ
きゃあああああ
うぐ
ぐ
!!

ジョル・・・・・ノ
ややっ！
かすかに息を吹き返してる
やつらジョルノの息の根を完全に止めるあくくは暇は
なかったようだな
ギリギリだったが
危なかったぜ
アバッキオよ…ジョルノ
おめーのこと軽くみてるけどよォ
なにか
知らず知らずのうちに
おまえの決断する方に
動いていってるんだよなあ
まるで「指導者」のようによオオーッ
おまえがいれば…希望があるかもしれねえ
この「旅」は
さ…さあ…みんなのところへ戻ろうぜ
ぐ
ザッ
ドドドドドドド
攻撃が
始まってからの時間は
どのくらいだ？
…約4～5分か
とにかく
今「組織の追っ手」が
この2人の他に
このヴェネツィアに
到着しているとは
とても思えない！
ガラ空きになったはずッ！

ドドドドド
ドドドド
今だ……
ドドドド
この「ヴエネツィア」を脱出するのなら今がチャンスだ
ドド
ドドドドド
オオオオ

空港に向かうのだ
飛行機をゲットするッ
いや！なんとしても飛行機は手に入れなくてはならない！
オレたちには陸路を行く余裕はない！組織中から「道」や「鉄道」を追ってくるだろう！
しかもサルディニア島に行くにはどっちみちいずれ！
「ティレニア海」を渡らなければならないのだからな！
ヴェネツィア
アドリア海
イタリア
ティレニア海
サルディニア島
ドオオオオオ
サルディニアで「ボスの過去」を一刻も早く見つけなければオレたちの負けだ
本体名 ティッツァーノ（スタンド名・トーキング・ヘッド）
死亡
本体名－スクアーロ（スタンド名・クラッシュ）
死亡
To Be Continued

# フライト・コードなし！サルディニアへ向(む)かえ

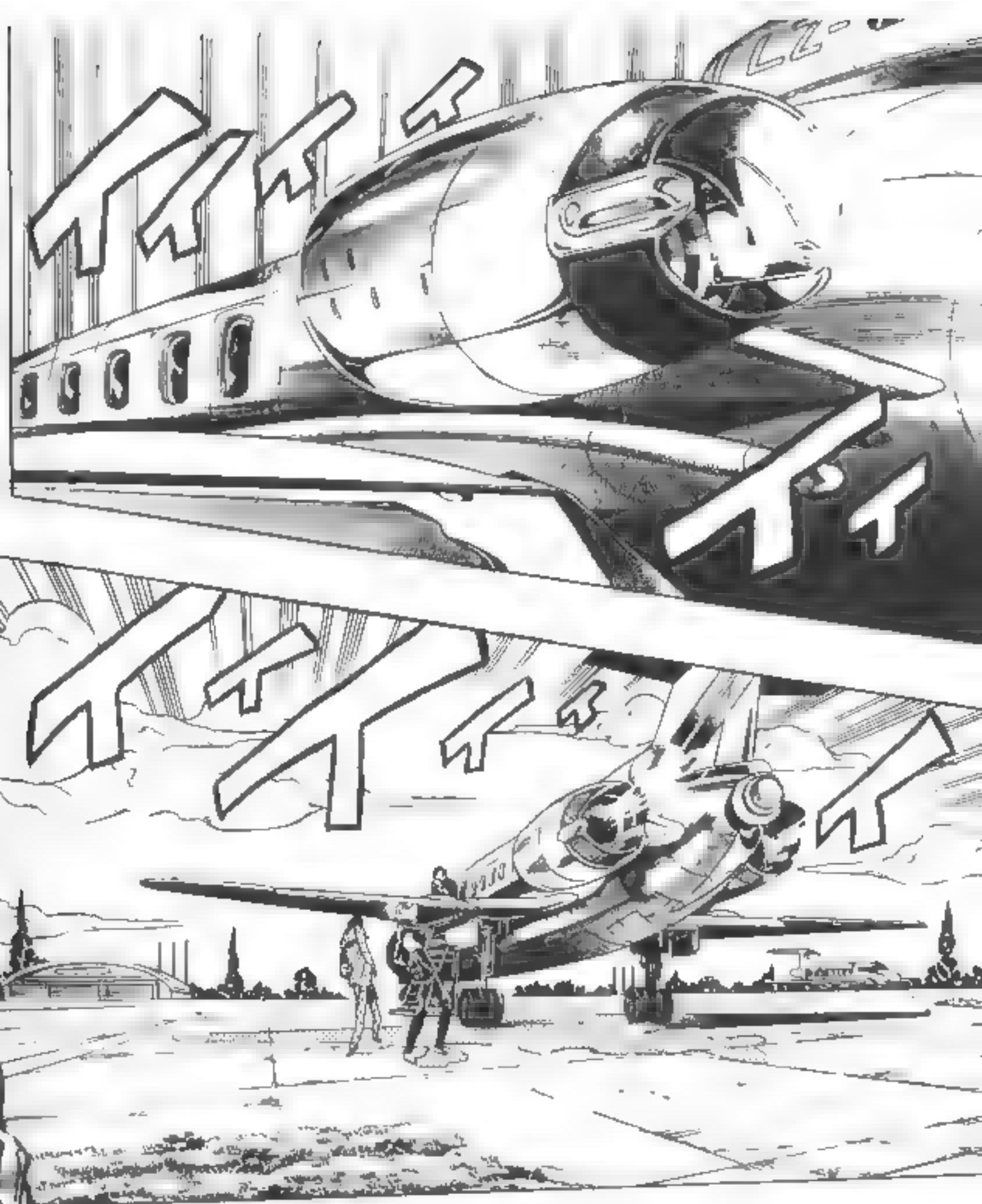
ヘイッ！ヘイッ！
おまえらだオイッ！
どこへ行く気だッ!?
ここは一般乗客用のゲートではないッ！
進入禁止の立て札が見えなかったのかッ！
出ろッ！出発ゲートは向こうだッ！向こうッ！
ナランチャ「追っ手」の気配はどうだ？
やはりヴェネツィアはガラ空きみたいだ
異常はないよ
ピューン
ピューン
耳が長いのに騒音で難聴ーにならねーのかな
ただ空港の芝生って野ウサギがいるわ

おいーっ
おまえらに
ほってんだぞッ！
おまえらだッ！
ここは立ち入り禁止区域だ！
それ以上進入すると
逮捕する事になる！
ああ……
もし
手が空いてなければ
ひとつ
ちょっとした
質問に
答えてくれると
ありがたいんだが
空港は広くて
よくわからないんだ……
これから
飛行機を
盗みたいんだが
それって
どの辺に停まって
いるのかな？
え
ズルッ！
あれ？

足元に気をつけて
そのまま4歩ほど
前に進んで
もらえるかい？
できれば
個人用のジェット機とか
貨物輸送機が
いいんだがな・
いやもちろん！！あとで
返却するつもりだが
オレたちのほしいのは
一般人が乗れる
旅客機ではなくて
向こうかい？
それとも
こっちかな？
あれ？
ガチャ
？
ガチャ
え？
ディ・モールト
グラッツェ
（どうもありがとう）
おい ブチャラティ
あっちだってよ!!
あっち!!
く、
うっ
なに
あれ？
おい
ちょっと

ゴオオオオオ
……そ
あっ……
！！
そういや みんな！……
さっきから飛行機を盗むとか飛行機に乗る事ばかり言ってるけど！
オ オレ！ とんでもない事に気がついたぞ！
オレが気づいたから いいようなものの
みんな 大変な事を忘れてやしねーか!!
飛行機に乗るって操縦はどうすんだよッ！『パイロット』を！
あんたら ここまで来て こんな大切な事を忘れて どうする気だッ！ 元チンピラのオレたちの誰が操縦できるっていうんだッ！
誰も忘れてや しねーよ！ おめーだけだ

カシャ
そりゃあ 確かに操縦なんかできるやつは 誰もいねえ……
だが…
飛行機を「操縦した」やつは いたはずだぜ！
何時間か何十時間か前にはな
このコクピットで
ギュウーン
ギューンウウウン
「操縦した」やつは……
……いたはず だぜッ！

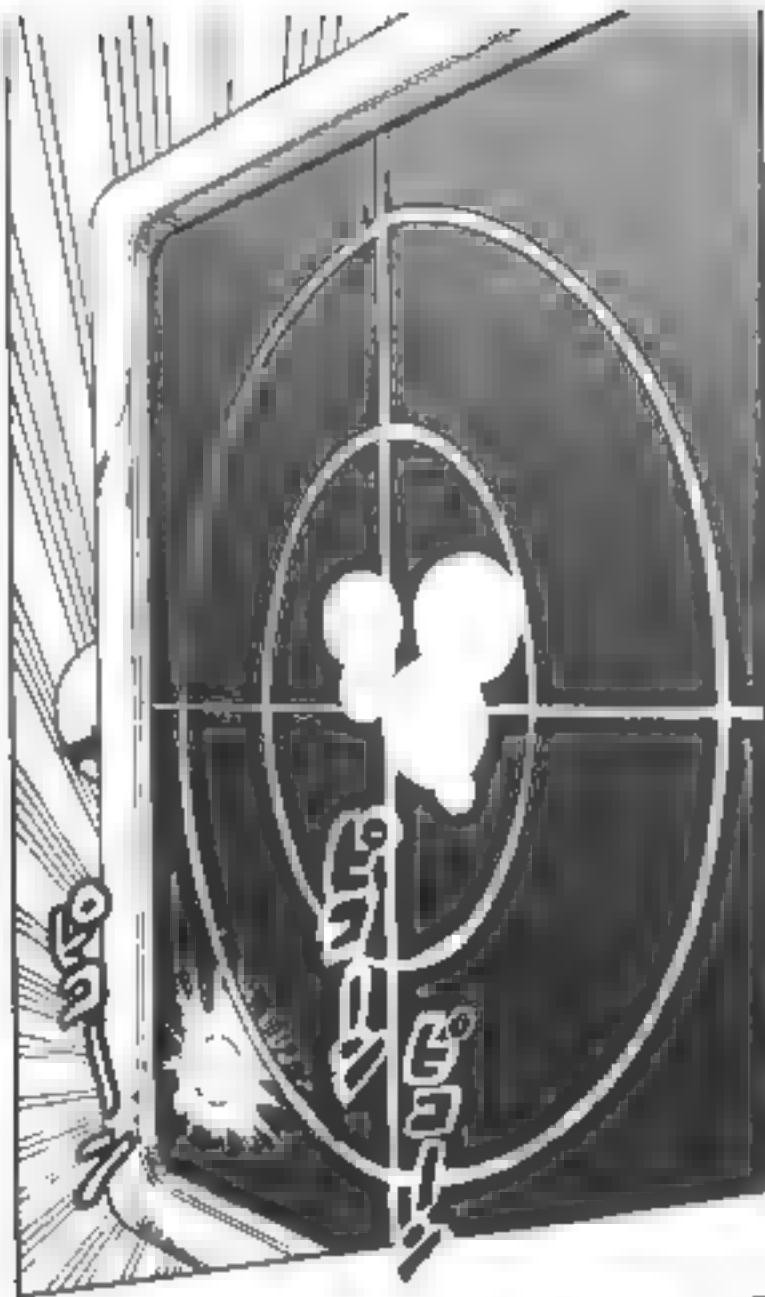
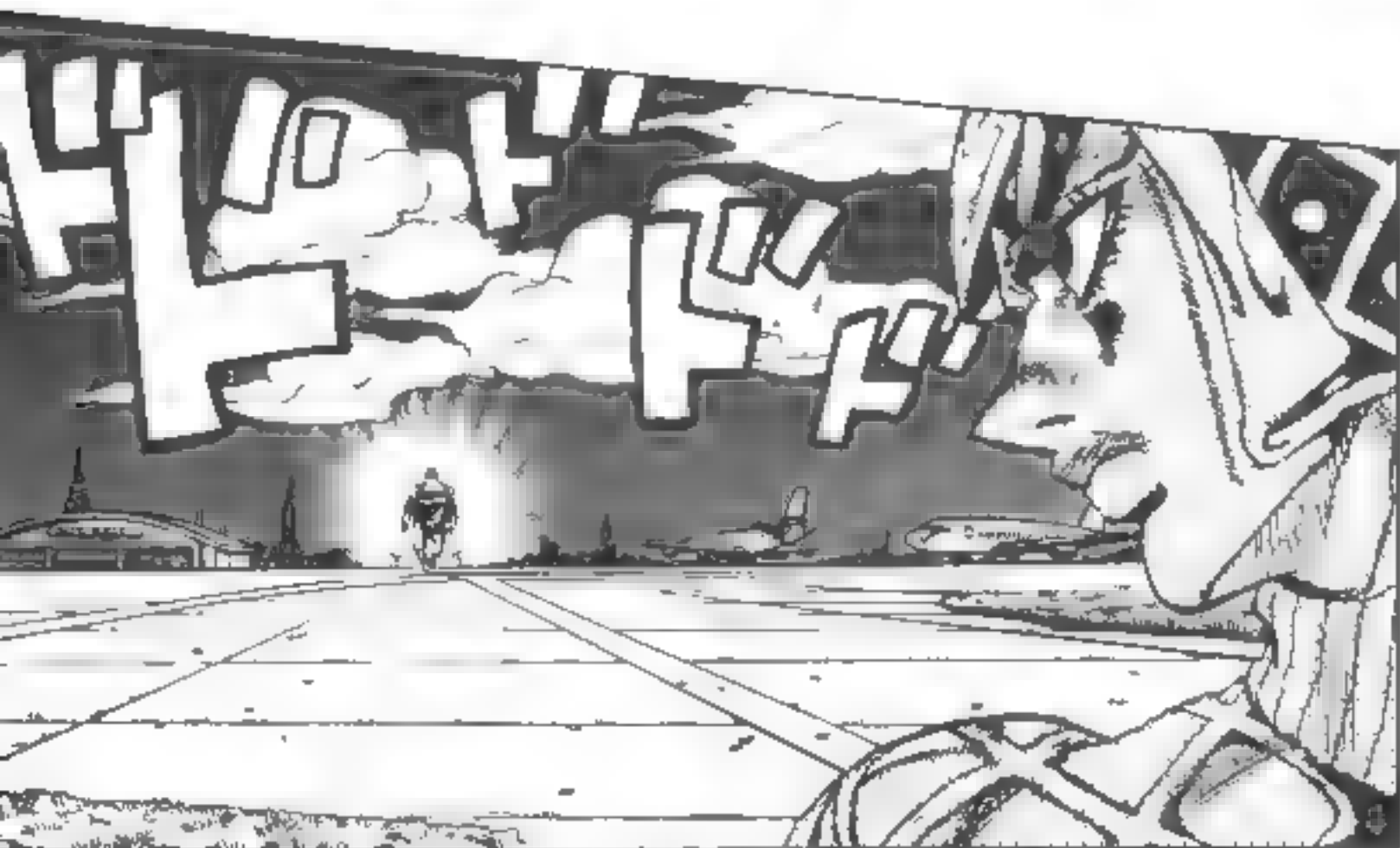
キュイイイイイイ

イイイィ
ィィ
イィイイィィ
ィイ
「ムーディ・B」の「再生」で飛ばすのかよ
この機体に生命エネルギーらしき物は何も感じられません
……つまり
もう少し詳しく調べますがこの飛行機には ゴキブリ一匹「生き物」は乗っていません

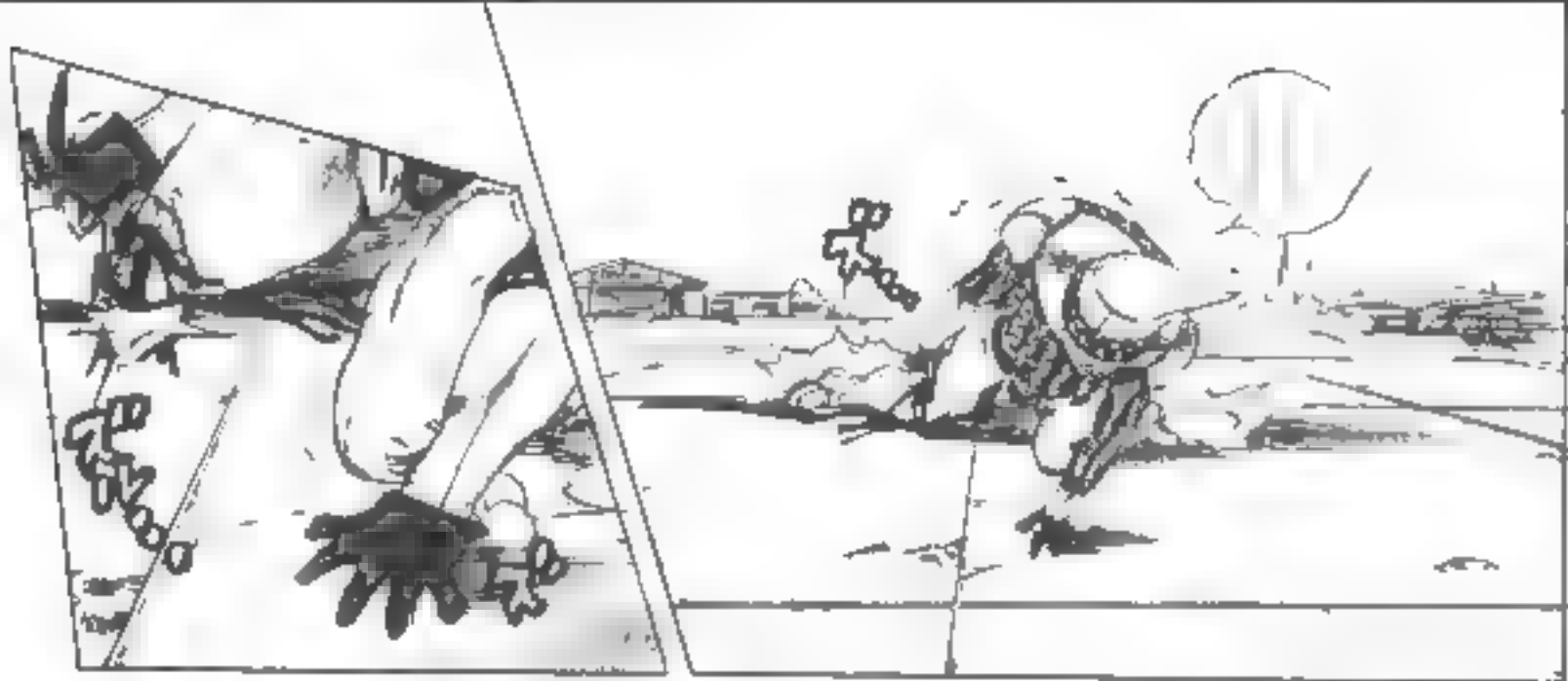
イイイイイ
イイ
よしッ！
この機をいただこう！
ミスタ！ジョルノッ！
この機に何人たりとも…
いや！いかなる『生き物』ッ！
いかなる『微生物』をも
近づけるなッ！
ゴゴゴゴ
離陸後 飛行機は高度
数千から一万メートル上空を
時速800キロものスピードで
滑空する！
一度飛びたてば そんな距離を
そのようなスピードと力で 地上から遠隔
操作できるスタンド使いなど存在しないッ！
行き先は
『サルディニア島』!!
飛行時間は
約2時間弱だッ
!!

で
でも再生ならよ・
その機体・・・ぜ、前回サルディニアに向かったとは限らねーじゃねーかよ〃
たしか「INS」とかいう
目的地をインプットすれば自動的にコンピュータで連れてってくれる装置がついてんだよ
映画で見た事がある
オレが「INS」を探してインプット仕直せば問題はねーだろ
映画の情報かよ……

アバッキオ
離陸まで時間はどのくらいかかる？
わからねえ
テレビで見た時は機内の気圧を調整しないかぎりエンジンが作動しないシステムだった！
これぱっかりは早送りできねーぜ10分ぐらいかかんじゃあねーか
テレビかよ
イイイイ
……
ブチャラティの脚さっきのレストランの闘いで負傷したのかしらジョルノに治療してもらわなかったのかしらでも
血がほとんど出ていない
けっこう深そうなのに「血」が「一体」……？

ピコーン
ピコーン
ピコーン
ピコーン
ピコーン
レーダーに反応だ！
誰かが近づいて来る！滑走路を歩いて来る。
ドドドドド
ミスタッ！左前方に反応だッ！
何者かが来るッ向かって来るぞ！

ドドドド
ドドドド
ドド

追っ手か!?
あの男の他にレーダーの反応は!?
射程内ではあいつひとりだ
そこで止まるんだ――ッ
勝手な事を言わしてもらうがこの飛行機に近づく者はたとえ聖人だろうと射殺させてもらうッ!!
聖人ならよォーここに来るはずはねーし
自分の幸福を願うならよォ――飛行機に背中見せてこの滑走路から消えるんだ

ドドドーー
オォ〜ッ
耳クソがつまってるんなら別だが
よく聞くんだ
もう一度だけ
警告するぞ・・
見逃してやる・・・・・・・・・・・・・・
そのまま
はいずって
この滑走路の
外に出ろ
ドゲシ
ドドドド

向かってくるぞーミスタ
微妙だがまだこっちに向かっている！
スタンド使いだ！スタンドを出したぞッ！

『セックス・ピストルズッ』！
ギュルッ
ドドドドドドドド

!!
やった！よしッ！
ジョルノ！ナランチャ！周囲を見張れッ
ひとりではないかもしれん！！

ナランチャ
飛行機のまわりを
見張れッ！
他の敵に
用心しろッ！
ノトーリアス・B・I・G
その①

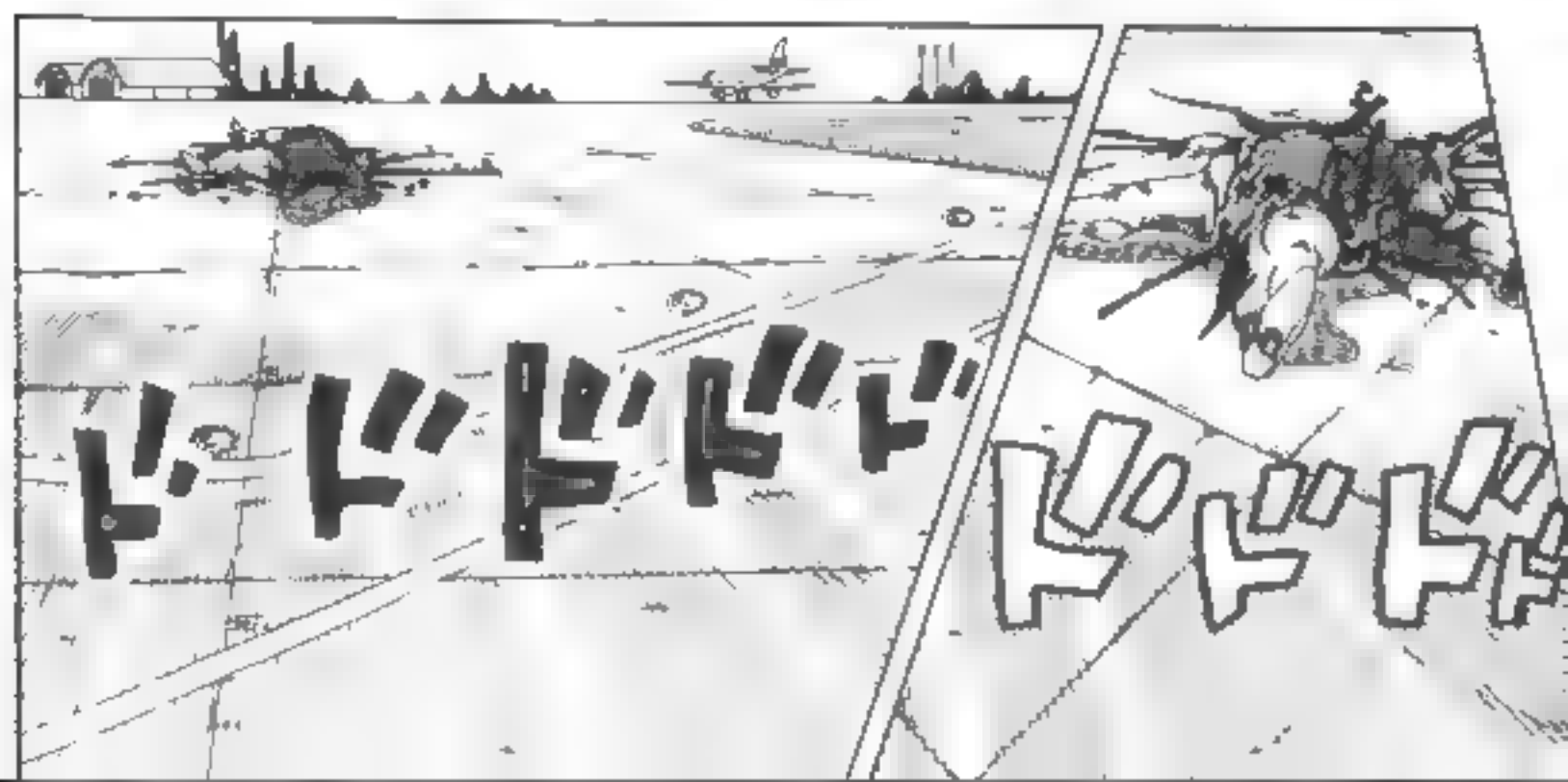
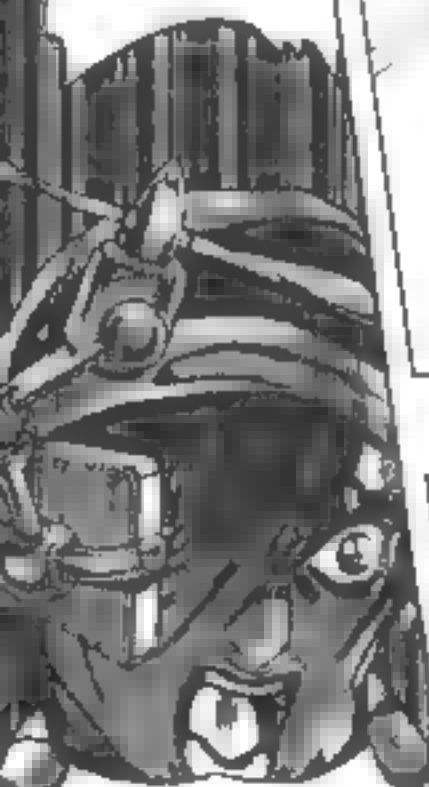
ノトーリアス・B・I・G
その①

敵は
そいつ
ひとりだ!
他に この飛行機に
近づく者は
どこにもいないッ!

見たとおり
そいつは
即死したッ！
調べるまでも
ねーぜッ
ジョルノ！
ええ
わかっています
しかし
……用心は
しないと……
妙に
あっけなさすぎる
敵だ……!!
……まるで
倒されに来た
みたいだ…
オメエ〜
オレとオレの
ピストルズを
侮辱してんのか？
そいつはオレ様の敵じゃあ
なかったって事だ！
はるか
「格下」だッ！
しかもこんな下っぱのヤツを
むりやりの命令で
仕掛けて来るしかねーって
事は
やはり今！
このヴェネツィアの
ボスの親衛隊は
ガラ空きって
事の証明
でもあるぜ
ええ
確かに…
言うとおりです
完全に死んでいます
脳組織は半分以上
破壊！ 呼吸はおろか
心拍も「生命のエネルギー」
も消えました
即死です
もうぼくの「ゴールド・
E」でも「治す」事
さえできない

ミスタ！ジョルノ！飛行機が動き始めたぞッ！
早く乗って！どうやらアバッキオの「ムーディー・ブルース」が離陸の手順を始めたみたいだ！
おいジョルノ！時間だ行くぞ!!
ナランチャ「エアロスミス」は外に出したままだ
この機が完全に滑走路から飛びたつまで「探知」を続けるんだ
絶対に何者をも近づけてはならん
わかってるよOKブチャラティ
こちら管制塔
滑走路上の小型ジェット何をやっている!?
止まれ!!離陸許可は出ていない！飛行計画書も提出されていないぞ！
了解
離陸開始します
離陸速度データセット完了 時速200キロまで加速します

おい！乗ったら早くドアを閉めろよ オラァッ！

ここからはもう操縦の中止はできねーぞ

ピタッ
依然この飛行機のまわりには反応は何もねえ！
芝生に住んでいるウサギさえも近づいてはいねーぜ
ギオオオオ
大丈夫！異常なしだッ！
ゴオオオ
オオオオオ
オオオ
滑走路上にも前方にも何も待ち伏せてる者はいねえッ！

ドド
ドドド
や、やっぱり すげえスピードだ
オレも いっしょに飛んでるから 『エアロスミス』が ついて来てるが
オオオ
ブッ飛び そうだぜ
異常なしだ 『エアロスミス』を 解除するよ
ゴゴゴ

車輪脚を格納！
高度一万二千まで上昇 安定飛行に入ります
離陸完了だ これで少なくとも オレも着陸までは……
神経使わなくて済むな・・・ さらばヴェネツィアだぜ〃

あたしの「父」は……
いいえ……
あなたたちの「ボス」は
あたしがサルディニアに「過去」を探しに行くと…
予想するかしら
「元」だ
元……
オレたちのボスだ
当然予想はするだろう……
オレたちが
組織から逃げてる
わけはないとな
だからサルディニアには2時間で到着するが時間の余裕はない
一刻を争っている
一刻も早くボスの過去をつきとめなくてはならない……

オレの考えでは サルディニアでボスが 君の母親と 知り合った時
ボスはまだ 正体を隠す ような ギャングではなく ただの若者だったと 予想している その後ギャングになったのだ
「正体」は必ずある ボスの「14年前の素顔」が 必ず残っている それは オレたちには探す事は 不可能だが
娘である君には 見つけられる はずなんだ
何か
何でも いい もっと君の お母さんの思い出話で もっと細かい事を 何か覚えてないか
「カーラ・ディ・ヴォルペ」よ
エメラルドのように 青い海岸にある 「キツネの尾」という名の
母はそのリゾート地へ ヴァカンスに行って 父と知り合ったと 言っていたわ
そして 父はサルディニアで育った 人だとも言っていたわ なぜなら サルディニア方言を使う人 だったらしいから
でも エメラルド海岸の ヴァカンスとともに 父はいなくなり 母はそれ以上は 探せなかった 名前さえも
何を探せばいいのか あたしにも わからない
それに 単なる 母の思い出話よ
行けばわかる

君は唯一のボスと血のつながった者…だからこそボスはこの世から君を消そうとしているのだ…

しかも

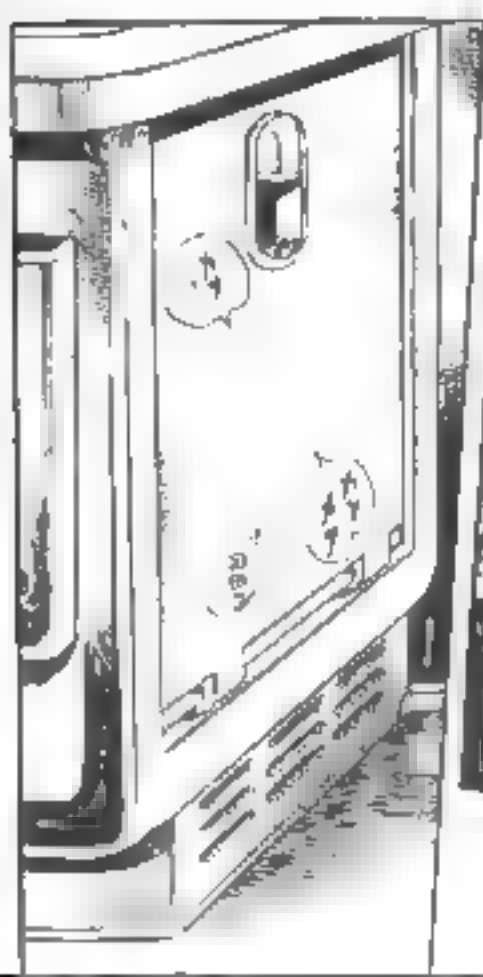
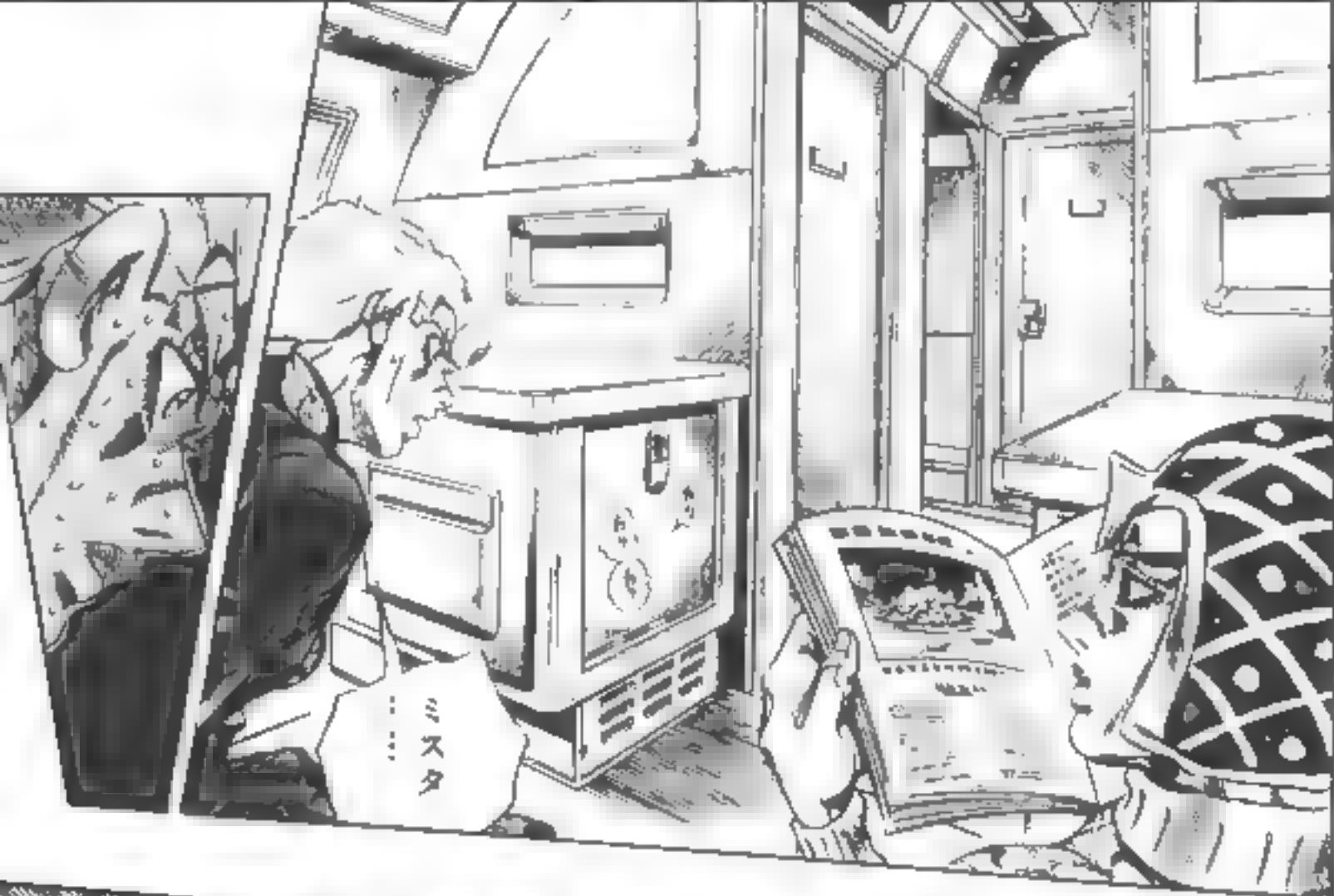
「キツネの尾」という入江だな
行き先は限定されたわけだ……!!

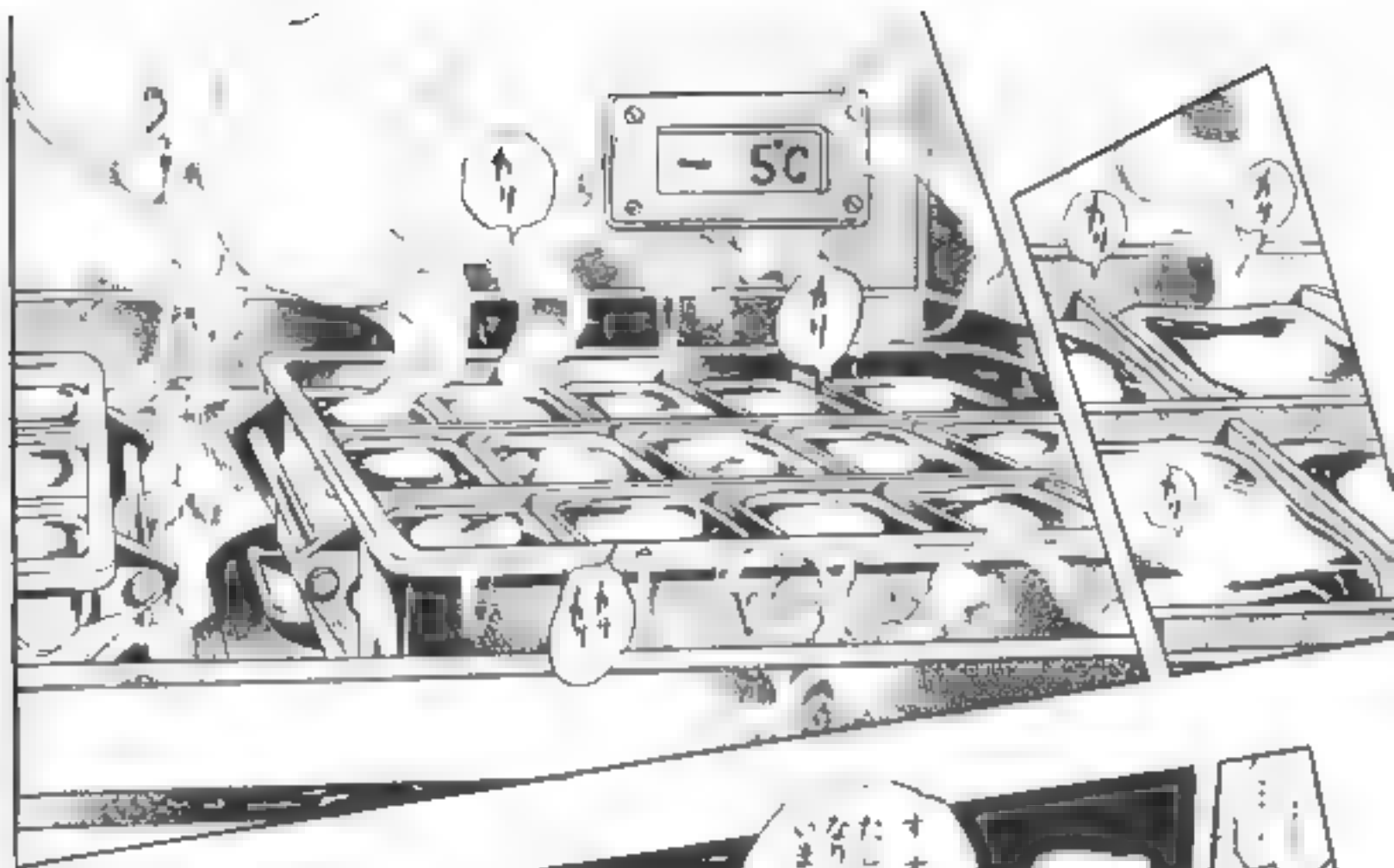
……

ミスタ……

ミスタ・聞こえていますか？
拳銃を抜いてかまえてください
この音を聞いて…

「音」……？
「音」ってこのゴオオってボートのエンジン音の事か？何言ってんだ？
いいから銃を抜いてくださいッ！そこの戸棚が変なんですッ！

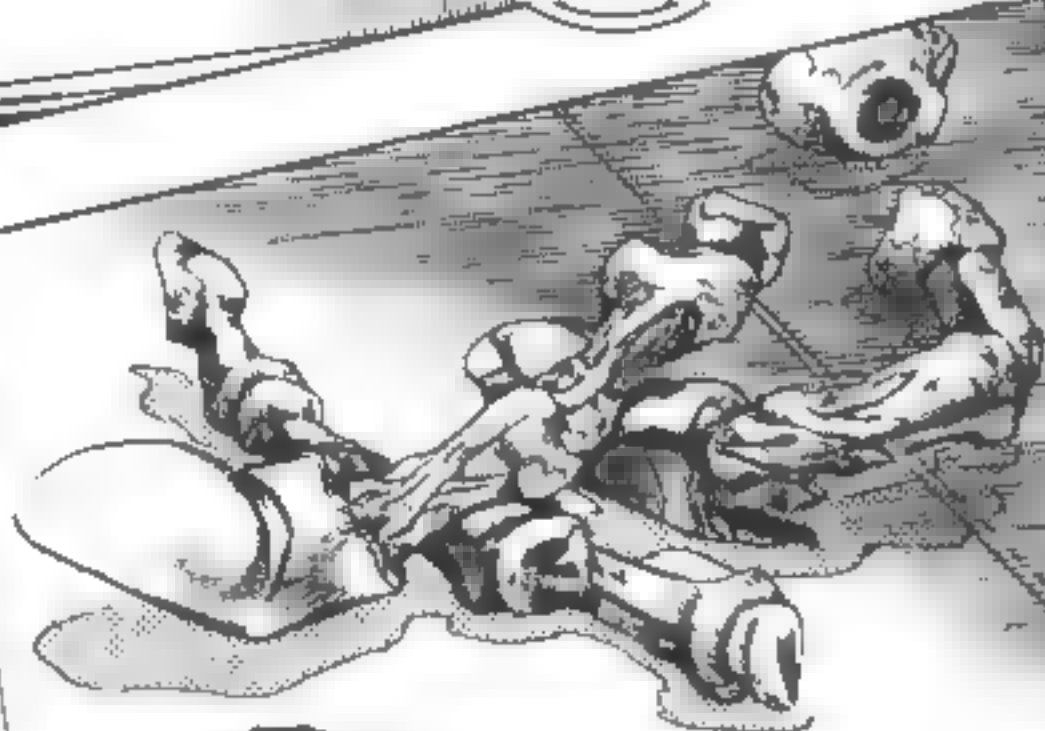
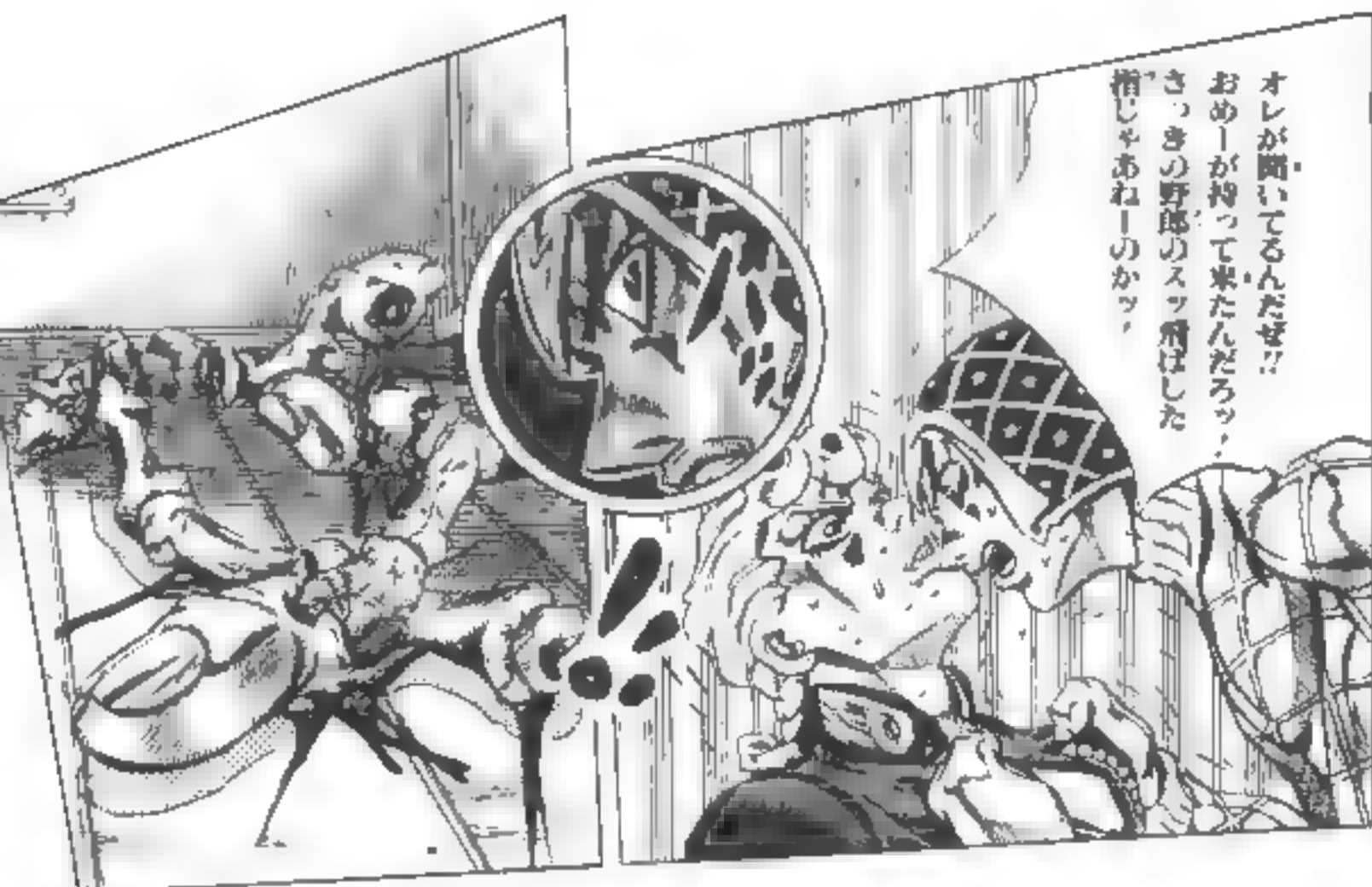
……

おいおいおいおい
妙な事言ってんのはオメーだぜジョルノ！
その戸棚の中に何かいるっていうのか!! オメー自身が調べたんだからな この飛行機にはゴキブリ一匹乗ってねえってな！ 言ったよな！
たしかに……
調べました 我々以外「生物」は何も乗ってません 今も「生命エネルギー」は何も感じません
しかし…
しかし……なんだよ
遠隔操作のスタンドでも乗ってるっつーのか！
おめービクついてんじゃねーのかッ！
時速800キロ 高度一万二〇〇〇メートル それは考えられない たしかにビクついているのかもしれない
だが
聞こえたんです 何かイヤな感じだ……
開けてみます 念のためだ 銃をかまえてください

カリ
カリ
－ 5℃
カリ
カリ
カリ
すみません　たしかに神経質になりすぎていました
冷蔵庫……
戸棚は冷蔵庫で製氷室の「氷」のできていく音にビクついているなんて
カリ
カリ
ジョルノ

てめー…なんの冗談だ……
いつ この冷蔵庫に入れたんだ…
鳥肉の食い残しなんかで
このオレを誰かそうなんてよォ―――何か おもしれえのかよ こんな事してよ
ゴゴゴ
ゴゴ
ゴゴゴゴ

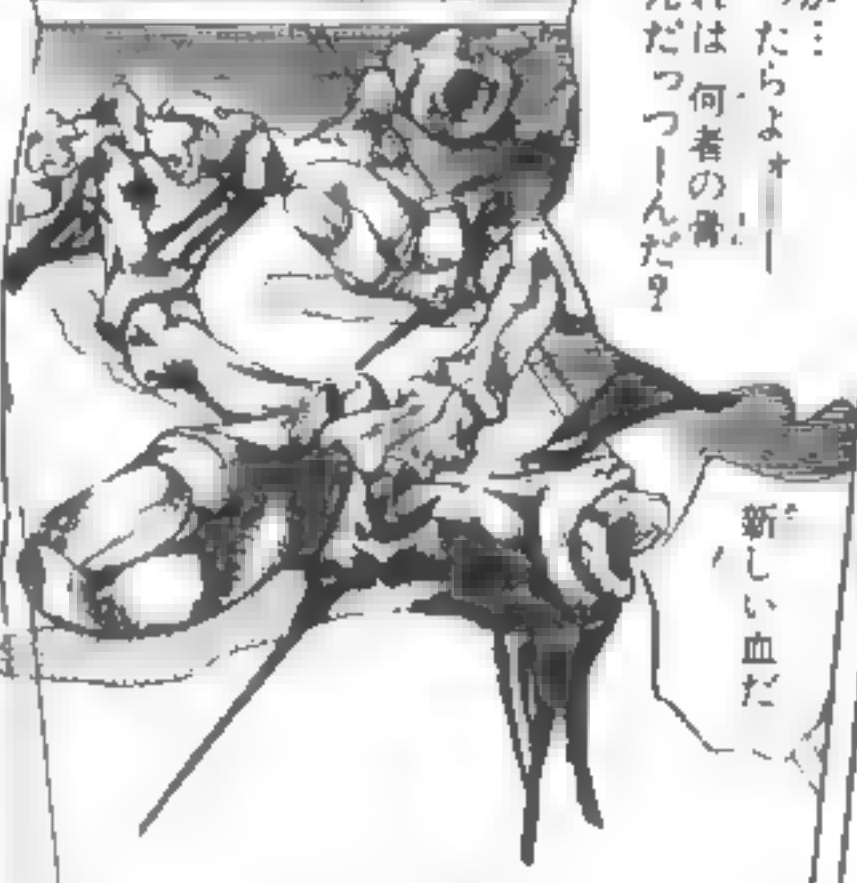
チ
ぬ…濡れてるぞ
ち…血が新しい
馬肉じゃねーぞ…
お…おい…ジョルノ!
ど…どっから持ってきたんだ? オレに一体何でこんなものを見せるんだ!?
こ…これは…!?
考えられない この飛行機はぼくらが選んだものだ!
誰がなんでこんな物をおいてるんだ……!!

オレが聞いてるんだぜ!! おめーが持って来たんだろッ! さっきの野郎のスッ飛ばした指じゃあねーのかッ!

おおい ちょっと待て
今… 何本あった!? 増えてねーか
……い…一本… ま… まさか!! これは!?

な、なんだって バカな、ヤツは死んでた 確かに
い… いや たとえ生きてたとしても 遠隔操作は ありえない

ノトーリアス・B・I・G
その②
ドドドドド
なんだ
いいか！ ジョルノ 冗談なら もういいかげんに やめろよ……
誰か どうやって これをここに 持ち込めるって いうんだ!!
この「指」は オレがさっき空港で 弾丸ブチ込んだ フトッチョ野郎の指 じゃねーのか!?
ええ!! ジョルノ 違うのかッ!? おい!!
落ちついて ミスタ
おまえら どうかしたのか？
ブチャラティ！ トリッシュの護衛を！ そして
他の戸棚や 衣装入れに 何か異常なものが 入ってないか 調べてまい

ナランチャは「エアロスミス」でこの飛行機のまわりにも
「何か」いないか改めて確認を〃
!!
……
ドン
オオオ
ノトーリアス・B・I・G
その②

オオオオオオ
オオオ
空巻の男の「指の骨」なんて事はありえないッ！
彼の死は「ゴールド・E」が完璧に確認したんですッ！
ああ！
それはわかっているぜッ！
オレがブチ込んだのは全弾ヤツの急所に命中させたんだからな！
だから オレはおめーの冗談だと思ったんだ！
だが……だったらよォーー
これは何者の骨なんだっつーんだ？
新しい血だ
いつ どうやって 誰がこんなこそぎとったような指をこの機内に置いたんだ!?

まさか前の客がおつまみにするためにこの冷蔵庫にしまっといたわけではあるまいによォオ～～～～～～ッ
他の戸棚やイスの下には何も異様なものはねえぞ！
外にも何もいるわけがねえよッ！近くを飛ぶ他のジェット機さえもなッ！
ジョルノ
この機内に「生命エネルギー」はいっさいないと確認したな？
しかしミスタはその指が「3本」から「4本」に増えたようだと言っている
おまえも見たのか？ジョルノ
……くっ
絶対にありませんすみずみまで調べました
いえ突然の事だったのでよく数えては
指がひとりで動いたという事か？その「指自体」にもしかして「生命エネルギー」があるのでは？

さわるな ジョルノ
用心深く あつかうんだ
この上空で 遠隔操作の スタンドという事はありえないが さわらなくていいものに 触れる必要はない

ただの「骨」です
生命のない「物体」です
もしこの骨が「生きていたり」「スタンド」だとしたならゴールド・Eの能力で植物の根がはったりはしません
一本増えたように見えたってのはあまりにもタマゲたんでオレの見間違いかもしれねー
「異常な物」であるのは変わりのねー事だぜ！
その とおりだ……
さっきから「攻撃」だとか まったく危機的気配はないが
何者かが どんな方法かは知らんが
何か目的があって ここに 置いたのだ
え…
これは…外に…捨てよう

え…そ それって
アバッキオがさっき言ってたけど
1万2千メートル上空の機内と外では気圧がものスゲー違うんだってよ!
ひ…飛行機の扉を開けるのはヤバイらしいッ!
内側の空気が便所のネズミみてーに外へブッ飛んで行くそうだぜ!
扉を開ける だと… 扉…まで 持って行く必要は な
みんな 何かに つかまれ…
『スティッキィ・フィンガーズ!!』
えっ!!
なにッ!
まさか「ジッパー」をここで!
!!!
ひいッ! うわあああっ!!

ポン
……る
ほどの事も
なかったかな
冷蔵庫ごと
外に投棄した
他に異常はないか
アバッキオのいる
コクピットまで
徹底的に
調べるのだ……
バッ

確かに落下していく
感じる……「骨」に根をはったゴールド・Eの植物がものすごいスピードで離れていくのを
だがなんかスッキリはしてねーぜ！もし今のが敵ならいつあれを持ちこんだのか考えられねえ！
とはいえまだ離陸して10〜20分しかたってねえ……!!早いとこみつけて良かったのかもしれねえなッ何かが起こる前に
ええ

オオオオ
オオオオ
……
ピッツァ マルガリータか……
そういや ぼくも ピッツァが食べたいな……
故郷ネアポリスに帰って、シンプルなマルガリータ
ピッツァ マルガリータが食べたい。

サルディーニアへ

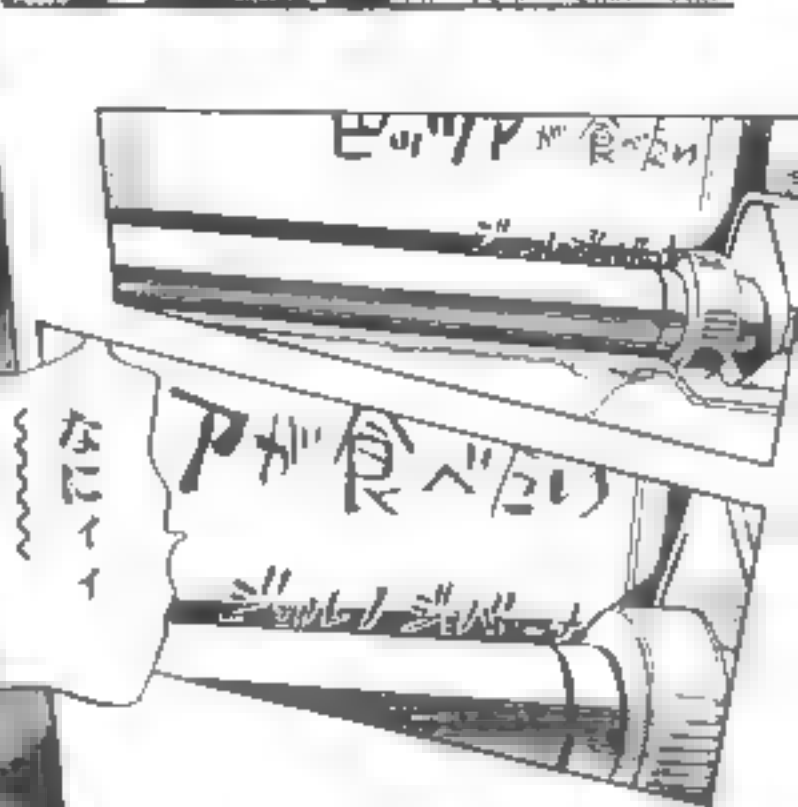
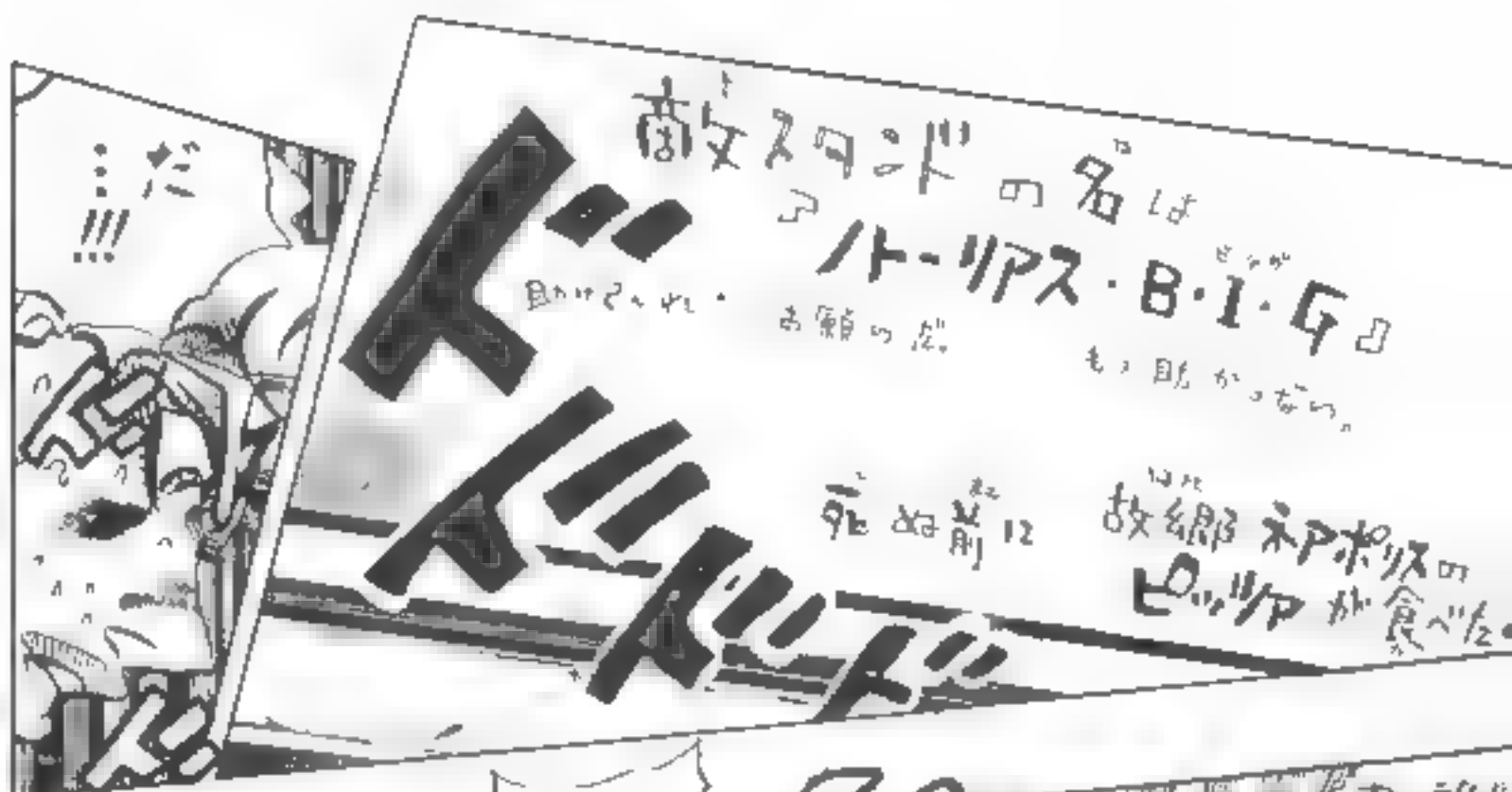
行きたいっ。

ぼくたちは

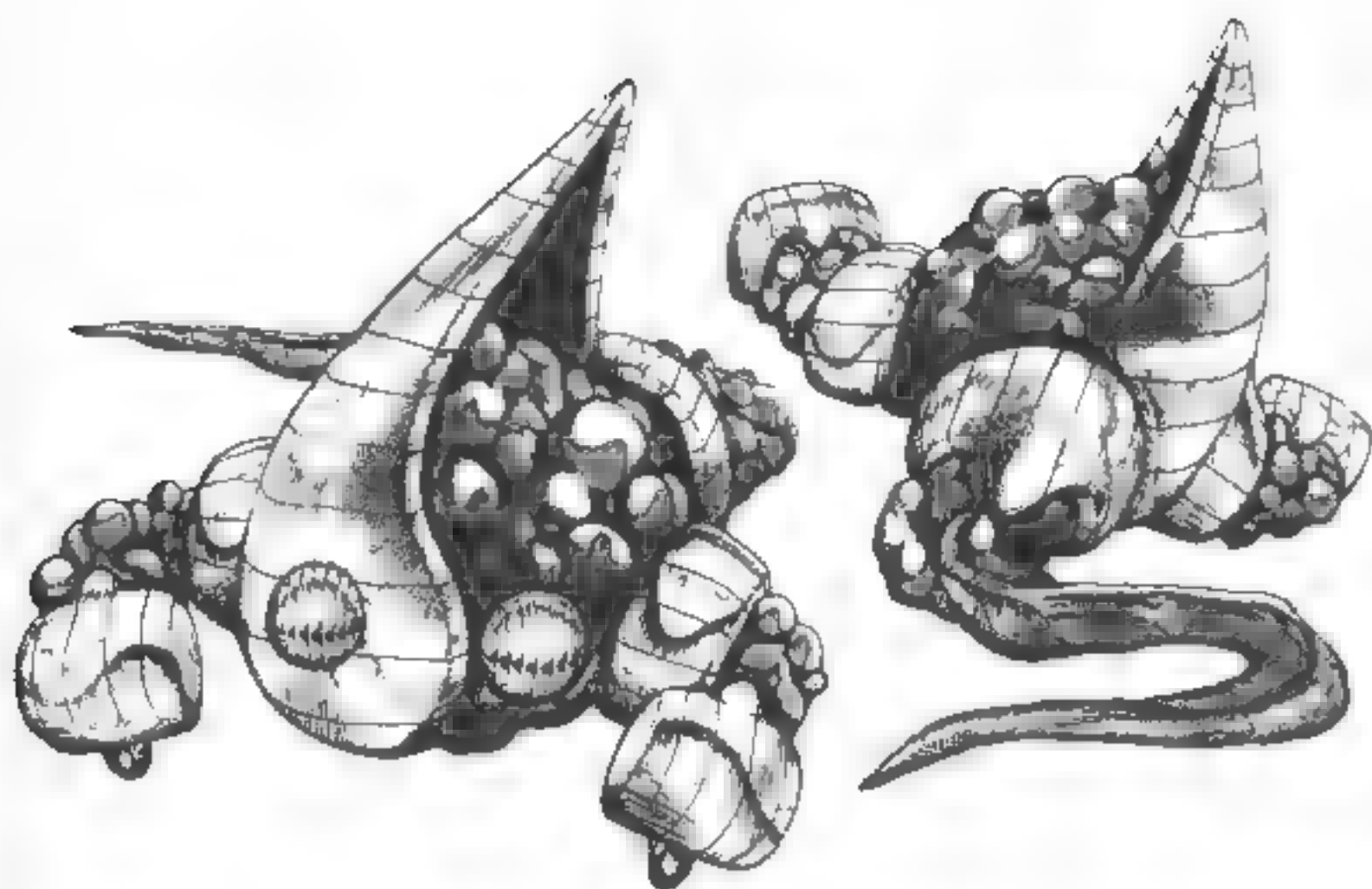
サルディニアへ行きたい
ぼくたちは
サルディニアへ行きたい。
ぼくたちは
サルディニアへ行きた

死体に喰われる。
助けてくれ。
死体
喰われる。
助けてくれ。
なんだこれは………!!
死体に喰われる。
ぼくたちは
死体だから もう 殺すことはできない。

…だ!!!
敵スタンドの名は『ノトーリアス・B・I・G』
もう助からない。
死ぬ前に故郷ネアポリスのピッツァが食べたい
ドドドドド
いつ!!
こんな事を誰が書いたのだ!!
はっ
誰が書いたんだッ!?
………
なにィィ～～～
ピッツァが食べたい
アが食べたい

ピクッ!!
ピクッ

こ…この指はッ!!
まっ…まさかッ!
なにィ〜〜〜〜ッ
ラクガキは
こ…
こいつかッ!!
「指の骨」は外に捨てたはずだッ!
今完全に機外に投棄したッ!
さわってもいないッ!
はッ!
「死体」だと…

滑走路で
近づいて…「死体」を調べた
「ゴールド・E」で
ヤツの「死体」を調べた…
ドドド
死体に喰われる
だ…だが
まさかッ!
「死体」だと?
死んでるのに
スタンド能力だと…
ゆ…指がどんどん
大きくなる!
こいつ!
こ…ぼくの
体を喰って 大きく
なっているのか…
ドドド
『ゴールド・E』
ぼくの右腕を
切り落とせ
――ッ
!!

な…
なにイイイイイイイイイ
ゴ…「ゴールド・E」の
腕が……
「同じ形」に
「喰う」とは……
この事だったのか
スタンドが
喰われてるッ！
そして、バカなペンでラクガキしたのはぼくだった？！
ミスタは冗談はやめろといったそのとおりだった……
滑走路から
「罠」を持ち込んだのは
ぼくだったのだッ！

| スタンド名—「ノトーリアス・B・I・G」<br>本体 カルネ(死亡) | | |
|---|---|---|
| 破壊力—A | スピード—∞ | 射程距離 ∞ |
| 持続力—∞ | 精密動作性—E | 成長性—A |

能力—本体が死ぬ事によって、その怨念のエネルギーではじめて発現したスタンド。攻撃した者の肉体かまたはスタンドのエネルギーをねらってどんどん成長する。本体は死んでいるので射程距離はない。

A—超スゴイ B—スゴイ C—人間並 D—ニガテ E—超ニガテ

何事だ…ジョルノ
おい
お
り
右腕を…………切断しなければ……
腕とはこの事か…どんどん大きくなっている
信じられない…
指を冷蔵庫に持ち込んだのは…
ぼくだった…
「スタンドの右腕」はどんどんえぐられていく！このままだと…
ノトーリアス・B・I・G その③

ゴールド・エクスペリエンス

!!
こいつ…
『ゴールド・E』の左腕に
飛びかかろうとしている!!
見えているのか!?
まずい!
「何か」を探知している!
探知していなければ
こんな動きはしないッ!
まずい!!
このまま左腕をふりおろすのは
まずいッ!

早く……
新しい右腕を創るんだな
ジョルノ……
いったいどういう事なのだジョルノ
理解できん……!!
スタンドなら敵本体はこの機のどこかに潜んでいるという事なのか!?
今までの……
常識を越える……
初めてのスタンドです
本体はいません…すでに死んでいます
さっきヴェネツィアの滑走路の上で

あの男は「死ぬために」やって来たんだ…… わざと撃たれて死んだのです

スタンドの「能力」だけを「自動追跡」にするために…

エネルギーだけが生きている… 本体が死んで初めて動き出したスタンドのようです

そして本体がいないから 高度1万2000メートル 時速800キロのスピードに「スタンド」だけが付いて来れているのです

……ぼくの体にひっついて……

だがジョルノ

動きはのろいぞ!!

いや!! もうぜんぜん動かなくなったぜ

い、今のでくたばったか!!

「食事中」だから動く必要がねえんだ…

近づきすぎた… 素早いぜ… 捕まえるスピードにはこいつ…

オレのピストルズが… 今ので「4…体」 半分以上だ…

動かねえたと……

……

違う… ナランチャ

ヤバイぞ……こいつ……近づくのはやばい
……みんな近づくな
ダラダラ
ダラ
ドドドドドド
ドドド
No.2！
No.3
No.6！
No.7

ミ…ミスタ…!!
ミスタ!!

も…
戻れッ！ナランチャ
何か やばいぞ 近づくなッ！
攻撃目標を なぜか 今度は ナランチャに 変えた
ぼくの腕の穴は ミスタの ピストルズを 瞬間的に 襲い――
こ…こいつが向かって 来ているのは 「死体」を調べた ぼくだけでは ないようだ
本体がいないのだから 見えるわけではないッ！
こいつ「何か」を 「区別」して攻撃しているッ！ 何かを探知して いるッ！
なめやがって
近づかなきゃあいいんだろ 近づかなけりゃ
チクショオオオ
だがオレの 「エアロスミス」なら 近づかずッ

ブッ飛ばせるぜえ――ッ

この動き…
やっぱり
こいつ何かを
探知しているぞ!!

ギュルル
ドン
ザ
シャア
バ…バカなッ
早…早い
素早すぎるぞッ
本体が近くにいなきゃ見えないこんな正確に弾丸の弾道がわかるわけがない
しかもダメージがないみたいだ
やばいぞ こいつ
このままだと…
全員攻撃されるぞッ

うおおあ
あ
あ
ナ…ナランチャ………!!
トリッシュ!
君は、クローゼット上衣装ケースの中に隠れるんだッ、すぐに他の中に入れッ!!
バ

なにイイイイ〜〜〜〜!!
バ…バカな!! オレやジョルノを飛び越してトリッシュに向かうだとッ! なぜトリッシュなんだ!?
ト…トリッシュを…!!
トリッシュ 早くドアを閉じろォーッ

まっ!!
間に合わないッ!
トリッシュ━━━ッ!!
無駄無駄無駄無駄無駄無駄
無駄無駄無駄無駄無駄無駄

わかりました…探知しているものが…

「動き」です！
この「スタンド」！
「動いている物」に反応し！
最優先に攻撃してくるのですッ！
ミスタの弾丸！
エアロスミス！
そしてトリッシュは
ドアを開けて
走って中に入ろうとした
スピードが早ければ
早いほど
それと同じスピードで
最優先に追跡してくるッ！

57フライト・コードなし！ ボスの過去をあばけの巻(完)

■ジャンプ・コミックス

ジョジョの奇妙な冒険
57 フライト・コードなし！
ボスの過去をあばけの巻

1998年3月9日　第1刷発行
2000年2月19日　第7刷発行

著者　荒木飛呂彦

編集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(5211)2651

発行人　山下秀樹

発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
03(3230)6233(編集)
電話　東京　03(3230)6191(販売)
03(3230)6076(制作)
Printed in Japan

印刷所　株式会社　美松堂
中央精版印刷株式会社



ISBN4-08-872526-3 C9979